

TDC

東京歯科大学同窓会会報

210

1982年12月

東京歯科大学同窓会会報 第210号

目次

巻頭言	1
お知らせ	2
本部短信	3
逝去会員	4
衛生士専門学校入試案内	5
学術	6～15
——誌上講演会——	
——臨床Q&A——	
昭和57年度評議員会, 総会報告	16～39
母校だより	40～44
トピックス	45
支部のうごき	46～47
クラス会だより	48～61
すいどうばし	63～64
へんしゅうこうき	65

(表紙・カット 菊池 豊)



千華校舎の庭(1)

千葉の校舎には緑の学園という言葉にふさわしい多くの樹木が植えられているが、近代的な建物に調和したいくつかの美しい庭が造られている。

これらを順次紹介してゆく。



実習講義棟と基礎棟の間の中庭

この中庭は講義室・セミナー室と学生ラウンジとの間で講義棟と基礎棟との中間の空間に造られた庭である。白の踏み石と小石の平面に緑豊かな草木を配したものである。休み時間に第1、第2および第3学生ラウンジからガラス越しに人々の眼を楽しませてくれる。

[グラビア撮影：松井恭平]

巻頭言

礼 節

副会長 吉 川 大 三

苦難の時代を迎えた。前途は深刻である。

輸出する物といえば綿布と絹織物だけしか無く、更に軍拡の重荷を担って苦しさに耐えて生きてきた時代を人々は忘れかけている。

「貧すれば鈍する」という諺を心の戒めとして、健康で衣食に不自由しない事のみで満足して生きて来た時代があった。

「衣食足りて礼節を知る」という諺は、苦難の道に耐えて来た人のみが理解出来る言葉であったかも知れない。

恵まれた経済力を得て、生活は豊になりかえって奢りの心は増し礼節は忘れられた。

生活は苦しくなったとはいえ、我が国には世界で最も優れた経済力がある。言論思想の自由がある。戦争の苦しみも無い。

更に健康の喜びを人々に与える歯科医という天職がある。

立派な歴史と秀れた先輩が残した東歯の同窓としての誇がある。

医術の研鑽を積み社界の人々より信頼と尊敬を受けるよう努力さえすれば生活は保障される。

富は時には貧しい心を培うが、豊かなる心は失われることの無い大きな財産である。

苦難に耐えて^{やが}聴て礼節を知る時代が来るであろうことを期待したい。

お知らせ

新年交歓会御案内

恒例の新年交歓会は昭和58年1月1日(土)の午後1時から行います。ご家族の皆様と御家庭でゆっくりと新春を迎えられた後、母校水道橋にご参集戴き、旧知旧友と共に新年を寿いで戴きたいと存じます。

日 時 昭和58年1月1日(土) 午後1時

場 所 東京歯科大学(水道橋校舎) 中央ホール

東京歯科大学

理事長 鹿島俊雄 同窓会長 河邊清治

学 長 松宮誠一 父兄会長 矢島忠夫

○ TDC 卒後研修セミナー'82日程

〔主題〕 加齢に対応した歯科診療の実際

と き 第1回 昭和58年2月26日(土)、第2回 同3月12日(土)、第3回 同4月16日(土)、
第4回 同5月21日(土)、第5回 同6月18日(土)、第6回 同7月16日(土)、第7回
同9月10日(土)それぞれ午前9時30分より午後4時30分まで

ところ 経団連会館(地下鉄丸の内線・千代田線・東西線大手町駅、国電東京駅下車)

応募期限 昭和58年2月10日

○ 昭和58年度東京歯科大学入学試験

試験日 昭和58年1月29日(土)、30日(日)、31日(月)

試験場 東京歯科大学 千葉校舎

願書提出期間 昭和57年12月13日(月)~昭和58年1月20日(木)

試験内容 学科試験(英語、数学、理科)、適性試験

小論文試験、面接試験、健康診断

※ 入学試験期日ならびに学科試験科目の変更にご注意下さい。

昭和58年度入学試験要項・東京歯科大学要覧をご入用の方は、東京歯科大学(千葉校舎)教務課へ1,500円(郵送の場合は350円分の切手を同封)を添えてお申し込み下さい。

なお、水道橋校舎でも直接受けとられる方にはお頒け致します。

○ 昭和58年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験

期 日 昭和58年2月24日(木)、25日(金)

試験場 東京歯科大学歯科衛生士専門学校(水道橋)

合格者発表 昭和58年2月26日(土) 午後3時

入学試験要項ならびに願書一式は水道橋校舎(三崎町)歯科衛生士専門学校教員室で600円でお頒けしております。なお、郵送の場合は670円を現金書留あるいは郵便為替でお送り下さい。なお、詳細は本号5頁をご覧下さい。

○ 第218回東京歯科大学学会例会

と き 昭和58年3月5日(土)

ところ 東京歯科大学千葉校舎

本部短信

1) 行事出張, その他

- 9月29日 卒後研修特別委員会委員と大学幹部との懇談会
- 10月1日 卒後研修特別委員会(将来計画検討委員会)
- 6日 卒後研修特別委員会(会計委員会)
- 7日 常任理事会(臨時)
- 9日 杖痕クラブ創立50周年記念祝賀会 河邊会長列席
- 12日 役員打合せ(共済部担当理事)
- 13日 広報部委員会(企画)
- 14日 松本歯科大学創立10周年記念式典 安嶋副会長参列
- 16日 理事会
- 20日 卒後研修特別委員会(会計委員会)
- 24日 関東地域支部連合会総会 河邊会長, 永井, 津島理事出張
- 25日 卒後研修特別委員会(全体委員会)
- 29日 役員打合せ(在京副会長, 総務, 会計担当理事)
- 30日 全国歯科大学同窓, 校友会懇話会 安嶋副会長, 佐々木, 天野理事出張
- 30日 長野県支部合同総会 吉川副会長出張
- 11月1日 卒後研修特別委員会(将来計画検討委員会)
- 4日 役員打合せ(共済担当理事)
- 6日 福岡歯科大学創立10周年記念式典 伊丹副会長列席

- 12日 全国ゴルフ大会 板垣副会長出張
- 12日 理事会
- 11月13日 昭和57年度評議員会, 後援会総会, 第88回定時総会(午前10時, 於高輪プリンスホテル)
- 13日 九州地域支部連合会総会 野上, 溝上理事出張
- 14日 日本大学歯学部創立者佐藤運雄先生の生誕百年記念 河邊会長列席
- 15日 広報部委員会(編集)
- 20日 近畿地域支部連合会総会 河邊会長, 福本, 平理事出張
- 26日 卒後研修特別委員会(全体委員会)
- 28日 東京地域支部連合会総会 伊丹副会長, 児玉理事出張
- 28日 栃木県支部総会 安嶋副会長出張

2) 罹災会員

昭和57年9月12日午後6時頃, 静岡県御前崎付近に上陸した台風18号は, 13日東日本を縦断, この度の水害による罹災会員は次のとおりであります。心からお見舞を申し上げます。

- | | | |
|--------|---------------|------|
| 牛込支部 | 渡辺 吉明(昭34.3卒) | 床下浸水 |
| 小石川支部 | 高橋 一夫(昭12.3卒) | 同上 |
| | 福本 博(昭18.9卒) | 同上 |
| | 荒井 賢一(昭22.3卒) | 同上 |
| | 河江 力男(昭25.3卒) | 同上 |
| 目黒支部 | 小野寺桂吾(昭15.3卒) | 床上浸水 |
| 中野支部 | 熱田恒太郎(昭26.3卒) | 床上浸水 |
| 横浜西部支部 | 玉井 達人(昭47.3卒) | 床下浸水 |
| | 宮 忠昭(昭50.3卒) | 同上 |

昭和57年秋の叙勲並びに昭和56年, 57年に褒章受章の榮譽に浴された本会関係諸先生は次のとおりであります。心からお祝い申し上げます。

(昭和57年秋の叙勲)

- | | |
|----------|------------|
| 勲五等双光旭日章 | 高柳 秀夫(埼玉県) |
| 勲五等双光旭日章 | 重浦 靖治(東京都) |
| 勲五等双光旭日章 | 高橋 省己(千葉県) |
| 勲五等瑞宝章 | 杉浦 實(静岡県) |
| 勲五等瑞宝章 | 佐藤 一(愛媛県) |
| 勲五等瑞宝章 | 阿部 銚弑(愛知県) |

- | | |
|--------|-----------------|
| 勲五等瑞宝章 | 国沢 重仲(高知県) |
| | (昭和56年年5月21日褒章) |
| 紺綬褒章 | 成田 實(東京都) |
| | (昭和56年10月6日褒章) |
| 紺綬褒章 | 赤堀 康興(岡山県) |
| | (昭和57年7月2日褒章) |
| 紺綬褒章 | 大石 孝弘(東京都) |

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます。 (敬称略・届出順)

●昭 25 卒 福島県支部	栗山 一 雄 (58才) 〒960-07 福島県伊達郡梁川町元陣内1-1	癌性腹膜炎	57. 8. 21
●大 7 卒 尾張支部	吉川 清 雄 (89才) 〒460 名古屋市中区栄5-28-5	老 衰	57. 8. 21
●大 8 卒 横須賀 鎌倉支部	遠藤 駿 三 (84才) 〒247 鎌倉市岡本1241-4 C-711	心筋梗塞	57. 9. 2
●大 14 卒 世田谷支部	三輪 信 男 (83才) 〒157 世田谷区成城6-4-12	老 衰	57. 9. 4
●推 薦 杉並支部	田高 善 七 (72才) 〒166 杉並区阿佐ヶ谷南3-32-1	心筋梗塞	57. 9. 7
●昭 30 卒 千葉県支部	佐久間 茂 夫 (52才) 〒280 千葉市土気町犬喰谷1752-17	脳 腫 瘍	57. 9. 10
●昭 11 卒 埼玉県支部	春山 正 雄 (69才) 〒367-02 埼玉県児玉郡児玉町大字児玉224	肺 癌	57. 9. 12
●昭 13 卒 兵庫県支部	名倉 良 介 (68才) 〒670 姫路市東辻井3-7-7	心筋梗塞	57. 8. 25
●推 薦 麴町支部	森野 武 夫 (87才) 〒102 千代田区九段南1-2-17	心 不 全	57. 9. 3
●昭 9 卒 横須賀 鎌倉支部	鈴木 味 幌 (70才) 〒239 横須賀市栗田2-37-3	心 不 全	55. 8. 29
●推 薦 栃木県支部	丹野 豊 (83才) 〒323 小山市宮本町3-8-29	脳 出 血	57. 9. 29
●昭 33 卒 千葉県支部	中島 一 臣 (49才) 〒285 佐倉市中志津5-13-18	心 不 全	57. 9. 29
●推 薦 群馬県支部	出井 正 七 (86才) 〒376 桐生市永楽町7-36	老 衰	57. 9. 29
●昭 10 卒 広島県支部	藤井 立 吾 (71才) 〒720 福山市桜馬場町1-30	脳軟化症	57. 9. 29

昭和58年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験案内

1. 修業年限 2年
2. 募集人員 40名
3. 出願期日 (昭和58年1月10日(月)から昭和58年2月17日(木)まで)
窓口に直接差し出す場合は、日曜、祝祭日および2月12日(本学創立記念日)を除き、午前9時から午後3時まで、土曜日は12時まで。(郵送は締切当日消印のものまでを有効とする)

4. 出願場所
東京都千代田区三崎町2丁目9番18号
東京歯科大学歯科衛生士専門学校事務室
TEL 03(262)3421(内線)288

5. 出願手続

- (1) 提出書類
 1. 入学願書(本要項に綴り込みのもの)
 2. 健康診断証明書(本要項に綴り込みのもの)
 3. 写真2枚(脱帽3分身、裏面に姓名記入、撮影後6ヵ月以内のもの、1枚は9cm×5.5cmに切って同封、もう1枚は4cm×3.5cmにして願書に糊づけすること)
 4. 出身高等学校長の調査書

(2) 提出方法

1. 窓口の場合
上記の書類に入学検定料20,000円を添えて出願場所の窓口に提出する。
2. 郵送の場合
 - ① 入学検定料を「郵便為替」にする場合は、本要項綴り込みの封筒にて、上記の書類と共に書留便で送付のこと。又、検定料を「現金書留」にする場合は、上記の書類と別送にする。
 - ② 受験票送付のための返信用封筒を同封すること。宛名記入、切手貼付(書留速達料)のこと。

6. 試験

- (1) 学 科
 - ① 国語：現代国語
 - ② 数学：数学I

③ 英語：英語B

- (2) 課題作文
- (3) 面接
- (4) 健康診断

7. 試験日の期日と場所

2月24日は午前9時30分集合。

試験はすべて東京都千代田区三崎町 東京歯科大学歯科衛生士専門学校で行なう。

2月24日 (木)	10:00~ 11:00 国 語	11:15~ 12:15 数 学	1:30~ 2:30 英 語	2:45~ 3:15 作 文
2月25日 (金)	9:00~面接・健康診断			

8. 受験者注意事項

- 受験当日は必ず指定時刻までに集合し、係員の指示をうけること。
- 受験場への携帯品は、受験票・鉛筆・ナイフ・消しゴムとし、定規・下敷きの持参を許さない。

9. 合格者発表

- 2月26日午後3時：東京歯科大学正面玄関(水道橋)
- 合格発表についての郵便、電話による問い合わせは間違いを起こしやすいから、これらには一切応じない。

10. 参考事項

所在地と電話番号
〒101 東京都千代田区三崎町2丁目9番18号
TEL 03(262)3421(内線)288・269

入学時所要経費

区 分	入学時納入金	第2学年時納入金
入 学 金	50,000円	
授 業 料	年 額 400,000円	年額 400,000円
設 備 費	50,000円	50,000円
学生会費	(入会金含む) 5,000円	3,000円
合 計	505,000円	453,000円

○入学後は上記の他に教材費、実習着代等が自己負担となります。

誌 上 講 演 会

歯科患者の心理と対応

(Ⅱ) いろいろな患者への対し方

関 計 夫

1. いろいろな患者の型と扱い方

前回は治療を希望する患者をどうやって捌くかという観点から「歯科患者の心理と対応の問題」を取りあげてみた。それは要するに患者と医者との出会いということであった。今回は出会う相手にどんなタイプがあるか、それがわかれば、こちらの出方も考えようという訳である。もちろん、これは相手のタイプだけではない。医師の側にもいろいろなタイプがある。現場の病院長の話では、医学部を卒業した者の少くとも1割、多いときは2割は臨床医師としては適しないといっている。歯科医でもそうだ。全く不器用で注射ひとつ旨くできない人、学者や研究者としては有能であるが、人好きのしない人などがある。わけても患者の気持ちをつかみ、それに乗って行けない人などは臨床家としては適しない。だから相手を知ってそれを操作しようなどと考える前に、自分自身が自分はどういう性格であるかを自覚し、その長所を生かし、短所を補うようにつとめなければならない。そういう事を前提として患者にはどんな人がいるかを考えてみよう。

まず第一に歯科医療管理学会関東支部長である織家勝氏は「受付マニュアル」という小冊子のなかで「人の型(タイプ)と扱い」という事を説いている。それによると、歯科医を訪れる患者には次の14の型がある。

(1) 技術屋型

これは細かいことにもよく気づき、人に指し図されることを嫌う型である。工学部を出た人などはこの種の人が多い。電気が消えると直ぐショー

トしたのだからとヒューズを取り替え、テレビの写りが悪いと、アンテナを直したりするようなタイプである。こういう人にはなるべくさし出がましくならないように配慮しなければならない。

(2) 議論屋型

何事にも一言ディスカッションしないと気のすまない人である。こういう人の話には、その内容だけでなく、そう言いたい気持ちを理解し、上手なあいづちを打つことが必要であるが、特に相手と口論したり、感情的にならないように注意する必要がある。

(3) ぐずぐず型

なかなか決心がつかず、一度きめた事でもあとから取り消したりする人である。こういう人に対しては暫く考える余裕をあたえるか、逆にこちらの方で主導的に出て、解決を助けるかする。こちらがイライラしないでそういう人もあるものだと、じっと待つ心得が必要である。

(4) のぼせ型

すぐカーッと頭にくる人である。こういう人に対してはおだやかに望む必要がある。「どうぞおかけ下さい」と別室に案内して椅子をすすめ、いっそう丁寧に対応すればよい。あくまで誠意をもってソフトにつき合い、絶対にこちらもカッとにならないように注意することである。

(5) さいぎ型

いちいちこちらの言うことに疑いを持ってのぞむタイプである。物事を厳密に確かめようとする人、あるいは前に他人からだまされた事があって人を疑いぶかくなっている人かもしれない。こう

いう人には疑わしい感じを与えぬようにする。たとえば、料金表とか規定など示して安心させる。相手の言葉をフィードバックすると誤解を防げることが多い。

(6) 好人物型

とっつきやすい人。しかし、それを組みし易しと見て軽くあつかうと反発をくうからご用心のこと。

(7) のらりくらり型

わざと要領を得ない返事をしてはぐらかす人。保険証を持って来ると約束しながらノラリクラリとして持って来ない、約束の日時を守らないなどの人である。こういう人にも誠意をつくす。たとえば、当日、電話をかけて約束の日時を確かめたり、保険証をお忘れなく、というような注意を与えるなどするのである。

(8) だんまり型

黙秘までゆかぬが、あまり返事をしないタイプ、電話応対など特に困る人。こういう人に対しては、「モシ、モシ」と応答をたえず求め、具体的な問いかけをして、一つ一つ確認する以外に手がない。

(9) 偉がり屋

尊大ぶる人で、多くは劣等感のうら返しである。これは余り気にせずいばらしておけばよいので扱いは簡単である。ヒステリー性格で見得っ張りのこともある。口紅をまっかにつけ、派手な服装をした女性などもそれなりに自己主張をしていると思えばよい。

(10) うるさ型

一言居士でだまっでいて、非常に細かいところに気がつく一番難かしいタイプ。こういう人はすぐれた人で世の中の不正不義をそのままに放置しておくことのできない人であるから、うるさいと思わず、いつもよく言って下さって有難うとお礼を言う態度で臨めばよい。

(11) 臆病型

用心ぶかい、石橋をたたいて、しかも渡らない人。こういう相手には「それでいいです。しっかりしてますね」など支持（サポート）することが特に必要である。絶対に「ダメじゃないですか」

というような態度をとらないことが肝心である。

(12) 変り屋型

これはいわゆる変り者、へん屈である。それに対してよくないというような評価的態度はとらず、あくまでそれとして共感する態度をとってゆくと、案外つきあいやすくなる。そういう人だと心得てそのままに相手を受容していくのである。こちらがそういう態度に出れば、相手もいつしか堅くなな心を開いて柔軟になるものである。

(13) 無頓着型

ひげをそって来ない、モンベみみたいな服装で来た、オーバーを脱がないなど、身なりを構わず、外見にも気を配らない人、いわゆるシツォイド型の人。こういう人は歯も磨かず、風呂にも入りたがらない。こういう人に対してはニコニコと微笑んで、その人が人生はもっと大事なことで、本質的なことに関心をもっているというよい方面に着用することが大切である。

(14) 絶対反対型

なんでも反対したがるタイプ。こういう人に対しては、「それではどうしたらいいでしょうか？」とその人の意見を尋ねること、そうすれば相手は自分が尊重されたと思って一生懸命に考えてくれるのである。税金など払いたくない人でも、言い分を十二分によくきいてやると、喜んで出すものである。

以上、織家さんの項目を手掛りにして、自由に解説してみた。もとより、一つの型が純粹に一つだけ現われるようなことは有り得ない、時と場合により相手は変化する。そのデリケートな心理に応じて臨機応変の対応ができる柔軟な姿勢をもつように心掛けたい。

2. 歯科心理学の立場から

アメリカには Journal of the American Society of Psychosomatic Dentistry and Medicine という歯科心理学の雑誌が出ている。その中でジョンズ・ホプキンス大学のコン (J. H. Conn) は、歯科患者の個人差の心理を次のようにのべている。

まず第1に歯科治療への態度は次のように分類

される。

(1) 医者により印象を与えようとして、恐怖心をかくしている人。

そのため医師には患者の恐怖心がつたわらない。いっそ怖ければ怖いと言ってくれば、その恐怖心を医者が受容する機会ができる。

(2) 不安を攻撃的に表現する人

不安をひき起すものを攻撃する。機械器具が不安であれば、それを放り投げたく思うであろうが、けっきょくそれを扱い、管理する医師に攻撃がむけられる。

(3) どんなに親切にしてやっても不平不満を訴え、医者を手こずらせ、怒らせる人。

小さい頃になぐられ、罰せられた上でしか、受け入れられ愛されなかった気の毒な人がそうなる。そう思って我慢するより仕方がない。

(4) 依存的で要求がましい人

これは幼い時から、周囲の愛情や関心をうるには、苦訴を誇張するのが最良の策と心得ている人である。こういう人には出来ることと出来ないことをはっきり言って、ケジメをつけることである。

(5) 肉親の死などにより深い悲しみを抱いている人

こういう人は仲々痛みがとれにくい。

(6) 不安、失意、孤独、憂鬱の心境にある人は苦訴が多い。

第2に痛み屋 (pain prone person) がある。

(1) これは両親から虐待された人。アメリカでは親が自分の子どもを虐待することが問題になっている。

(2) 罰したあとで、愛情を示すといったタイプの親をもった人。

(3) アルコール中毒の残忍な親をもった人。

(4) 肉親に痛みや病気の人があり、それに責任を感じている人。

(5) 月経痛、月経緊張症などの婦人。

(6) 病気をしたときだけ、親から可愛がられた人。

(7) いわゆる慢性虫垂炎、過敏性大腸炎、頻回手術の傾向をもつ人。

(8) 性に対する罪悪感をもつ人。

冷感症、不感症の婦人、インポテンツの男性、災害癖をもつ人、自己処罰の傾向をもつ人

(9) 愛する相手を失いかけている人、失った人
第3に痛み屋の神経症 (pain prone neurosis) がある。項目だけ列挙しよう。

(1) 転換ヒステリー

これは欲求不満や不安などの心理的原因を、歯が痛い、頭が痛いというような身体器官に転換したものである。こういう人は症状を訴える器官がつぎつぎに移動してゆくものが多い。

(2) うつ状態

これはうつ病にかかっているために痛みを感じずる人である。

(3) 心気症

これは心氣的傾向が蓄じて、はっきり心気症になっているもの。たとえば、歯が少しグラグラするのでいじる。いじるからよけいグラグラする。それで更にいじる。ますますグラグラする。痛い歯に注意する。注意するから痛む、痛むから余計注意するなどである。

(4) 精神分裂病

これはノイローゼよりも、はっきり分裂病になった者で、そのために痛みを感じるものである。

しかし、痛みの心理は独特であるから、それ自身、ひとつのテーマとして研究する必要がある。

3. 子どもの性格

以上は主として歯科医を訪れる大人の患者についてであるが、子どもについての研究としてアメリカのシェルドン (W. H. Sheldon) は胎生期における胚葉の研究から、子どもには5つの傾向があると述べている。

そもそも妊娠した細胞はどんどん増殖するが、既に18日たつとそれらは集団的に分化して諸器官の基ができてはじめる。その胎芽の組織は大きく分けると3つになる。

(1) 内胚葉型。消化器などがよく発達している柔軟な肥満な体型である。

(2) 中胚葉型。骨や筋がよく発達した体型である。

(3) 外胚葉型。これは頭脳、神経、皮膚組織、感覚器官の発達した弱々しい体型である。

シェルドンは最初このように3つにわけたが、後には5つにふやしている。つまり、体のどの部分、生理がすぐれているかという点から、子どもの性格には5つの型があるとしている。

(1) 消化器型の子ども

これは内胚葉系に属する子どもである。食べるはたらきがすぐれた子どもである。こういう子どもはいつでも何かを口の中へ入れたがる子である。食物だけでなく、指をしゃぶる、爪をかむ、チューインガムをしゃぶる。食欲、社交、安楽、緩慢などクレッチャーの躁うつ性気質の子どもである。いつも機嫌がよい。

(2) 呼吸器型の子ども

これは第一と同じ内胚葉系で、内臓のはたらきにすぐれたところのあるものであるが、食物でなく、空気に関係した点を大切に考える。性質はのんびりしていて、他人と争うことも少なく、おだやかな性格である。家の中にいるのが嫌いで、山や田園や海にあこがれ、社交をいやがる。一人で旅をしたり、山登りをし、ヨットを操縦する。概して風采は粗朴で都会的ではない。

(3) 筋肉型の子ども

これは中胚葉型で、筋肉や骨格にエネルギーの中心があつまっているタイプである。スポーツが好きで、力への意志がつよい。したがって、支配欲がつよく、リーダーになりたがる。何でも熱心にやり、疲れを知らない。ラジオをくみ立てたり、工作をしたりする。

(4) 神経型の子ども

これは神経型、頭脳型の子どもである。外胚葉型に属する。反応が早く、心配症、引っ込み思案のところもあるが、知的探究がつよく、なんでも根ほり葉ほりきいたりしらべるのが好きである。

(5) 性器型の子ども

この型はしっと心がつよく、小さいうちから性的なことに早熟な関心をもっており、愛情生活の興味をいだく。青年期になると、生理的な欲求を抑えることが困難になる。

以上であるが、これらの型がわかると、指導が

やりやすくなる。たとえば、消化器型の子どもはいつも指をくわえ、乳酸飲料水を飲み、白砂糖をとりすぎる傾向があるから、特に甘い物の取り過ぎを防ぎ、歯の清掃で虫歯を防止することが必要である。

神経型の子どもは優等生タイプで世話がやけないので、歯科でもよろこばれる。こういう子どもには読書指導が有効である。

しかし、医師や看護婦の言うことを先取りして模範的に振舞う子どもがいいとばかりは言えない。じっと我慢して医者の前ではおとなしくしているが、家に帰ってから親に反抗したりする。無理に感情を抑圧して小さい紳士淑女になっているからである。これは頭脳型の子どもに多い。

呼吸器型の子どもは水槽の熱帯魚などがあるとよろこぶ。魚が時々いきをしている様子が見られ、酸素を補給する管のさきからアワが観察されると、自分が呼吸しているように感ずるらしい。

筋肉型の子どもは何でも探索するから、診察室の椅子が上下に移動したり、出入口のドアが自動装置になっているので興味をもち、なんども出たり入ったりする。ユニットにある機械や器具を少しもこわがらず、むしろ好奇心と探究の材料とする。

性器型の子どもはしっと深いが、そうでなくとも患者はすべて不公平に取り扱われることを極端にきらう。順番をまちがわぬよう、取り扱いの親切さが平等かどうか注意を要する。

神経質な子どもは心配症である。傘を忘れはせぬか、治療のさい歯は痛くないだろうか、一人で診察室に入るのが怖い、などだから、親のつきそいも許した方がよい場合がある。

4. 健康調査表 (K. M. I)

こうした患者の個性を簡単に調べるために作られた健康調査表がある。これはコーネル・メディカル・インデックスを修正した九大心療内科のアンケート (K. M. I) である。これを待ち時間に患者に記入して貰うのである。問題は A: 既往症、家族歴など、B: 精神的自覚症状、C: 身体

< P. 12 につづく >

〔付表〕

健 康 調 査 票

調 査 年 月 日

姓 名

現住所

満年齢 歳 性別

職 業

※印の該当する個所を囲んで下さい。

※最終学歴 小学 新制 中学 新制 高校 高専 大学 旧制 旧制

※結婚状況 未婚 既婚 死別 別居 離婚

この調査票はあなたの心身の健康状態を知ろうとするものです。次の質問を読んで、はい、いいえ、のどちらかに○印をつけて下さい。秘密は守りますから、ありのままをかいて下さい。余り考えると分らなくなりますから、大体の感じで結構です。

A

- 1) 神経質な方ですか、人からそういわれますか。
はい いいえ
- 2) 子供のとき、夜尿（小学生になってからも）、爪かみ、指しゃぶり、夜泣き、夜驚、夢遊、（夜中にねぼけて歩きまわる）、どもり、かんしゃく、ひきつけなどがありましたか。はい いいえ
- 3) 今迄大病を患ったことがありますか。
病名（ ） はい いいえ
- 4) ひどいノイローゼにかかったことがありますか。
はい いいえ
- 5) 家庭に神経過敏な人、ひどいはいかみや、憂うつ症の人、変人、大酒家、ノイローゼや精神病の人自殺した人がありますか（もしあれば、上のどれかに○印をつけて下さい）。はい いいえ

B

- 1) 近ごろ自分の性格が変わってきたところがありますか。はい いいえ
- 2) 近ごろ気持ちが落ちつかず困りますか。はい いいえ
- 3) 近ごろ仕事で失敗することが多いですか。
はい いいえ
- 4) 怖い夢をよくみますか。はい いいえ
- 5) 自分に自信がもてずに迷うことがよくありますか。
はい いいえ
- 6) 人づきあいがかましくいきませんか。はい いいえ
- 7) 職場や家の中で嫌なことが多いですか。
はい いいえ
- 8) 最近びっくりするような事件にあってまだそのことが頭をはなれませんか。はい いいえ
- 9) 計画がむずかしすぎてあきらめてしまうことがよくありますか。はい いいえ

- 10) 議論になるとすぐ負けてしまう方ですか。
はい いいえ
- 11) 心を一つのこと集中できませんか。はい いいえ
- 12) へなへなと気がくじけてしまうことがありますか。
はい いいえ
- 13) 自分の思うようにならないと、いらいらしたり、カッとなったりしますか。はい いいえ
- 14) 人や物に好き嫌いがはげしい方ですか。
はい いいえ
- 15) よくいろいろなことを空想して楽しめますか。
はい いいえ
- 16) つい大きさに考えたり、言ってしまう方ですか。
はい いいえ
- 17) このごろ心配ごとがあって気持ちが落ちつきませんか。
はい いいえ
- 18) ひとりで外出するのが不安ですか。はい いいえ
- 19) はっきりした原因がないのに、いろいろなことが不安になりますか。はい いいえ
- 20) 新聞やラジオでこわいニュースを見聞するとひどくおびえますか。はい いいえ
- 21) 物音にひどく敏感ですか。はい いいえ
- 22) 人の言動が気にさわっていらいらしますか。
はい いいえ
- 23) 目上の人や他人の前ではしゃべれなくなったり、仕事がさっぱり出来なくなるようなことがありますか。
はい いいえ
- 24) 緊張したときに、ひどく汗をかいたり、ふるえたりしますか。はい いいえ
- 25) ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか。
はい いいえ
- 26) くよくよと先のことを取越苦労をしますか。

- はい いいえ
- 27) 気むずかしやの方ですか。 はい いいえ
- 28) ふだんからどことなく気持や身体がすっきりしませんか。 はい いいえ
- 29) 自分の身体や病気のことに非常に関心をもっていますか。 はい いいえ
- 30) 自分の健康のことが心配で仕方がないですか。 はい いいえ
- 31) 日によって体の具合の悪いところが移動しますか。 はい いいえ
- 32) そのときの気分によって、症状がよくったり、悪くなったりしますか。 はい いいえ
- 33) 特定の病気にたいする恐怖心がありますか。(その病気の名前は) はい いいえ
- 34) 特定の場所(高い所、暗い所など)にたいする恐怖心がありますか。(どんな場所ですか)。 はい いいえ
- 35) 特定の物(とがったもの、動物や虫など)にたいする恐怖心がありますか(それは何ですか)。 はい いいえ
- 36) 特定の状況(人の前で赤くなるなど)にたいする恐怖心がありますか。 はい いいえ
- 37) ひどく几帳面で、きれいすぎすぎるようですか。 はい いいえ
- 38) お金の出し入れや物の貸し借りに細かく気をつかいますか。 はい いいえ
- 39) 自分でも馬鹿らしいと思いつつながら自分のやったことを、くり返したしかめないと落着きませんか。 はい いいえ
- 40) 不快な考えがくりかえし頭にうかんできて、はらいのけることができませんか。 はい いいえ
- 41) 自分の気持が人にわかってもらえず淋しいですか。 はい いいえ
- 42) 何をしても楽しくなく、気がめいらいますか。 はい いいえ
- 43) 何をしてもおっくうで意欲がわきませんか。 はい いいえ
- 44) 人の中に出るのが嫌いですか。 はい いいえ
- 45) たえず罪悪感(自分が何か悪いことをしたような感じ)に悩んでいますか。 はい いいえ
- 46) いっそ死んでしまいたいとよく思いますか。 はい いいえ
- 47) 人がよく蔭口をいったり、あなたのことをさざやいているような感じを受けることがありますか。 はい いいえ
- はい いいえ
- 48) まわりの人や物と自分との間に距りがあって、実感がわかないように思えますか。 はい いいえ
- 49) 自分が自分でないような感じがしていますか。 はい いいえ
- 50) 身体の中がなんとも言えぬ奇妙な感じに襲われることがありますか。 はい いいえ
- C
- 1) よく病気になる方ですか。 はい いいえ
- 2) 家族(一族)に病弱な人が多いですか。 はい いいえ
- 3) 体がだるくて疲れ易いですか。 はい いいえ
- 4) よく全身の力がぬけたようになりますか。 はい いいえ
- 5) 仕事に根気がないようですか。 はい いいえ
- 6) 微熱がでるようですか。 はい いいえ
- 7) いつもあまり食欲がないですか。 はい いいえ
- 8) 体がやせますか。 はい いいえ
- 9) よく動悸がしますか。 はい いいえ
- 10) 胸や心臓のところに痛みがありますか。 はい いいえ
- 11) 胸を圧迫されるようで苦しいですか。 はい いいえ
- 12) 脈が急に早くなったり、狂ったりしますか。 はい いいえ
- 13) よく息苦しくなることがありますか。 はい いいえ
- 14) 急に体がかっと熱くなったり、寒気がしたりしますか。 はい いいえ
- 15) 急に汗の出ることがありますか。 はい いいえ
- 16) 顔や手足がよくむくみますか。 はい いいえ
- 17) 手足がよく冷えますか。 はい いいえ
- 18) 目が疲れやすいですか。 はい いいえ
- 19) よく耳鳴りがしますか。 はい いいえ
- 20) 口がからからにかわきますか。 はい いいえ
- 21) よくのどのつまる感じ(あるいは食物がつかえる感じ)がしますか。 はい いいえ
- 22) いつも胃がもたれるような感じがありますか。 はい いいえ
- 23) よく吐き気がしたり、吐いたりしますか。 はい いいえ
- 24) よく腹鳴りがしますか。 はい いいえ
- 25) よく下痢したり、便秘したりしますか。 はい いいえ
- 26) よく腹が痛みますか。 はい いいえ
- 27) 首、肩、背中がよくこりますか。 はい いいえ

学 術

- 28) 方々の筋肉や関節にこりや痛みがありますか。 はい いいえ
- 29) 皮膚が敏感でまげやすいですか。 はい いいえ
- 30) よくじんましんができますか。 はい いいえ
- 31) 昼間小便の回数は多いですか。 はい いいえ
- 32) 自瀆行為や夢精がよくありますか。 はい いいえ
- 33) 性生活に不満や故障がありますか。 はい いいえ
- 34) 月経のときに、ひどく気分や体の具合が悪くなり
ますか。 ※ はい いいえ
- 35) 月経は不順ですか。 ※ はい いいえ
- 36) 頭がぼんやりした感じがありますか。 はい いいえ
- 37) 頭痛や頭重感がありますか。 はい いいえ
- 38) 目まい、立ちくらみがよくありますか。 はい いいえ
- 39) 気が遠くなって倒れそうな感じによくなりますか。 はい いいえ
- 40) 今までに2回以上気を失ったことがありますか。 はい いいえ
- 41) ひきつけの発作をおこしますか。 はい いいえ
- 42) 体のどこかにしびれ、麻痺、異常感などがよくお
こりますか。 はい いいえ
- 43) 体のどこかによく痙攣がおこりますか。 はい いいえ
- 44) 睡眠はどうですか(寝つきがわるい。眠りが浅い
短かい。冬夢。悪夢)
※印は女子のみ記入して下さい。

備 考(その他心身の症状)

<P. 9よりづつく>

的自覚症状の3つからの99問である。Bは更に一般的不適応状態(1—8), 未熟性格傾向(9—16), 不安緊張反応(17—24), 神経質傾向(25—28), 心気傾向(29—32), 恐怖症傾向(33—36), 強迫傾向(37—40), 抑うつ反応(41—46), 現実感喪失(47—50), から成り立っている。これに「はい」「いいえ」の何れかに○をつけて貰う。「はい」の数で見る。健康者でも20項目位が普通, 35—40以上は心理的因子を考慮したほうがよい。心療内科の外來患者と健康者の平均値を比較すると次の通りである。あきらかに心身症群や神経症群は健康群より平均値が高い。

	人数	平均値	偏差値
正常群	100	20.1	13.75
心身症群	50	38.4	12.85
神経症群	50	42.5	15.20

以上の基準に基づいて看護婦が集計し、医師の診断資料とする。医師は各項目、特にAおよびBの1—8について具体的に尋ねる。病前性格は次のように分類する。

- H: わがまま、派手好み、自己顕示、大げさ、好悪顕著
- N: 内気、過敏、取り越し苦労、遠慮
- Z: 几張面、熱心、徹底的、融通がきかぬ、責任感旺盛

- E: しつこい、頑固、かんしゃく、整頓癖
- C: 陽気、社交的、世話好き、気分の周期がある
- S: 無口、非社交的、気むずかしい、とりつきにくい、超然

これも看護婦にやらせてもいい。

厚生省の保険点数50点即ち500円の収入が正式に認められている。まだ歯科医でこのような調査をする人は少いが、これ迄やった人の話では1度も審査ではねられたことはないそうだから、大いに活用するがよい。これまで厚生省は薬や注射は保険で認めるが、面接して指導助言することは全然評価しなかった。それがようやく一昨年から認められるようになったのである。

これは患者の待ち時間を活用すること、患者も治療に参加すること、歯科は口腔科であり、広くは全身に関係あること、心身は一体であって体の病いは心の病でもあること、などを自然に理解させることになる。特に自分は歯を治して貰いに来たと思っている患者に、歯科医は口腔を中心としたさまざまな健康の問題にとり組むようになっていく現状を理解し、その治療をして貰うことが変でないように誘導し、橋わたしをするという大切な役目をはたす方法とすることができる。

次にその事について述べよう。(九大名誉教授)

臨床 Q. & A.

Q-2 アマルガム充填かコンポジットレジン充填か? <白歯咬合面に何を つめてもかまわないか?>

東京歯科大学教授(保存) 石川達也

A.

白歯咬合面にコンポジットレジンを使用してもかまわないかという質問は、数年前から臨床家の間で、関心の高い事項となっている。私達は、この間に答える前に、一つの実例を紹介したいと思う。さる同窓生が、機会があって、東欧からの留学生の治療をしたところ、白歯咬合面にシリケートセメントが充填されていたのだそうである。これについてどう思うかという質問をいただいた。私自身、このような修復をしたことがないので、それについて本当のよし悪しは言えないが、ただ一ついえることは、歯科界の目標、あるいは歯科医療の目標を何処に置くかによって、かなり変わってくると思う。また歯科界をとりまく社会環境の歯科医療に対する理解の程度によっても医療の内容は規制されると思う。シリケートさえ認められなかったら、リン酸セメント修復ということになりかねない。これは逆行的に代用品を探していった場合の話であるが、先人が築きあげた歯科医学や医療の内容は、よりよい状態を求めて改変されていくであろうし、何がよりよい状態であるかは不断の研究と経験から、絶えず求め続け、内部だけではなく歯科界から外部に向けて啓蒙していく必要があると思う。ところで、コンポジットレジンを咬合面の修復に用いるということは、進歩なのか退行なのか問題であって、進歩であると断定できる100パーセントの資料が目下、備わっているわけではない。理工学的にはかなり優れた性質を発揮する段階に到達しているようであるが、これから本当の適応症、術式についての検討が必要である。

白歯用コンポジットレジン開発の目標はどこに置かれているか?

白歯用コンポジットレジンの開発目標は、どのメーカーも大体同じような項目について材質の改善を計ったと思われる。

- 1) 物理的あるいは機械的性質の向上
- 2) 耐摩耗性の向上
- 3) 接着性、辺縁封鎖性の向上
- 4) 操作性の適切さ
- 5) できるだけエックス線造影性を与える
- 6) 歯髄に対して無刺激性のものがよい

現在、われわれが知っている範囲では、このような目標が設定され、それぞれについてある程度説明が進められている。この材料は、アマルガムを目指し、アマルガムを追い抜こうという意気込みで作られているので、比較対照は当然アマルガムとなる。

白歯用コンポジットレジンには、機械的性質として、圧縮強さが高銅アマルガムに匹敵する強さに達している。4000kg/cm²を越すぐらいになっているので、咀嚼圧や咬合圧にはアマルガム並みに耐えることができると思われる。曲げ強さは、アマルガムよりも30パーセントほど低い、機械的な強さは、アマルガムにひけをとらないほどなので、その意味では、国産の製品も外国の製品も極く最近売り出された白歯用コンポジットレジンに信用してよいと思われる。

白歯咬合面に使用できる根拠をどこに求めているか?

機械的な性質がたとえすぐれていたとしても、口腔内で機能するには、いくつかの条件が満たされる必要がある。特に白歯部咬合面に充填されるからには、咬耗に対する抵抗性を持っていることが

要求される。咬耗に対する抵抗性を知るには、咬合歯との間の抵抗性、他の修復物に対する抵抗性、コンポジットレジン同志の抵抗性、食品に対する抵抗性などを調べなければならない。メーカー側は、レジンマトリックスの強化、無機フィラーの含有量を高める、無機フィラーを細かくすることなどによって耐磨耗性を上げようとしているが、現在までのところ、耐磨耗性の向上にはある程度の成功を収めている。歯ブラシ磨耗試験では、耐磨耗性が従来型のコンポジットレジンに比べて2倍以上向上しているという。このような成績が得られた理由は、主としてフィラー間の距離を接近させることができたため（フィラーの含有量が多いため）、その間に介在するレジンが磨滅しにくくなったからであると考えられている。外国のある製品のデータでは、フィラー間の距離は、臼歯用コンポジットレジンで $0.11\mu\text{m}$ 、従来型のコンポジットレジンで $0.387\mu\text{m}$ といわれていることから判るように、ブラシによるレジンの磨耗が起りにくくなり、そのためフィラーの脱落が少なくなったと理解されている。したがって本当の意味の耐咬耗性がどの程度発揮されるのか、あるいは、この材料が、対咬の相手方に対してどの程度の磨滅をしていることになるのかは目下のところ予測できない。永い臨床経験を通じて明らかになっていくことと思われるが、1～2年で咬合面の臼歯用コンポジットレジンが使用に耐えなくなるほど磨滅することはない。

いわゆる歯髄に及ぼす悪影響はどの程度か？

従来型のコンポジットレジンとこの点については大差がないと考えられる。われわれの教室でも、目下ヒト歯牙について検討中であり、外国では猿の歯を利用した研究が発表されているが、コンポジットレジン歯髄に及ぼす影響は、主としてレジン材料の側にあると考えるならば、レジン材料はフィラーが多くなった分だけ少なくなっている。予想では、むしろ歯髄為害性が少ないと考えてよい。しかしながら、果たしてレジン材料の歯髄刺激がコンポジットレジン修復時に発生する歯髄被害の主な原因となっているかどうかにか

については、かなり疑問視する考え方も強いので、レジンの刺激性の有無だけで解釈しては危険である。

この材料の辺縁封鎖性の良否が歯髄刺激性にも影響する可能性がある。その点について述べると、他の成形修復材料つまりアマルガムや従来型コンポジットレジンに比べて辺縁封鎖性はむしろ良好である。熱膨張係数が少ないこと、あるいは、レジン量が少ないため、レジンの解放ヒズミが少ないためかも知れないが、いずれにしてもこの点での危惧は、他の成形修復材料に比べて少ないことが判明している。

このように考えると、臼歯用コンポジットレジンには、より進歩した成形修復材料であって、臨床応用にあたっての問題となる点はほとんど残っていないように思われるが、それでも、使用に当たっては慎重を期す必要がある。その理由は、成形修復そのものの欠点から来る問題点、新しい未経験の材料であることから来る不安、などが必ずしも解決されていないからである。

何が未知との遭遇なのか？

コンポジットレジン修復に当たって、窩洞を酸処理する方式には、窩縁酸処理と窩洞全酸処理の2通りあって、一部の研究では窩洞全酸処理でも歯髄に対する悪影響を無視できるとしているし、極端な考え方では、その方がむしろ歯髄被害が少ないとしている。しかし、時に経験するコンポジットレジン修復の予後不良は、何故起こるのであるか？ 通常われわれが行う臨床では、ミクロン単位の精密さを実行できない面もあるし、研究条件と臨床条件とは異ったものである場合もあって、あまり簡単に臨床での歯髄被害の原因を結論づけることは避けた方がよい。目下できる範囲で着実な臨床を行ったとしても歯髄の安全を損ねることがあると思っていた方が実情に測している。

咬合面の成形修復は、アマルガムの場合でも問題点を抱えていた。窩洞外形を咬合接触点の範囲に収める努力、あるいは健全歯質に可及的に咬合負担を求める設計が基本であるにも拘わらず、こ

れが何時の間にかそうでない方向に拡大解釈されて、歯牙破折、極端な場合には咬合干渉、顎関節の異常にも結びつきかねない修復が半ば堂々と大手を振って通用して来た。白歯部に歯冠色類似のレジンで修復すると、窩縁の境界が不明瞭なため、アマルガム以上に咬合面の仕上げが不良になりやすい。修復時の咬合面の形成（彫刻）法もまだ確定した術式とはなっていないことを考えると、咬合面の形成仕上げの良否は、今後重要な問題になると思われる。

すでに十分な臨床経験を積んでおられる臨床家は、新しく登場した材料の長所をとりながら、巧みに短所を補って利用されていることと思われるが、つねに無批判に陥ることなく、よりよい方向に改善する方向で材料や修復法の進歩を見守り、御指摘をいただければ幸いと思う次第である。

なお、われわれの教室では、目下のところ咬合面、単純一級程度の修復を教育の基本として行きたいと考えている。

昭和57年度評議員会, 総会報告

昭和57年度評議員会

昭和57年11月13日（土）午前10時より東京都港区高輪プリンスホテルにおいて、昭和57年度評議員会が開催された。

福本総務担当理事の司会、伊丹副会長の開会の辞。点呼は受付の署名をもってこれに代えることを了承し評議員総数248名、出席評議員168名で会議は成立した。

会長挨拶

河邊会長から昨年の大学・同窓会の記念行事への協力に感謝し、また日歯会長選問題の円満解決の報告、今後の会員研修の問題等の考えが述べられた。

名誉会長挨拶

井上名誉会長から現会長の挨拶を支持し和を強調する意の挨拶がなされた。

司会者より来賓紹介があり、つづいて来賓挨拶がなされた。

来賓挨拶

松宮学長から大学もやっと千葉で軌道に乗りはじめ、新時代に向けて教育・研究・診療も対応しなければならず、国際交流にも卒後研修のバック

アップにも力を入れる所存である由の挨拶があった。

また遅参された鹿島理事長からは、財政基盤の確立と水道橋構想の準備、そして大学同窓の一体を強調された。

議長、副議長の選出

司会者一任となり議長に坂本豊美評議員、副議長に武井芳弘評議員を選出した。

議事録署名人の選出

議長一任となり、巢山保評議員と熱田俊之助評議員が指名された。

報告

津島理事から昭和57年度の会務報告があり、132名の物故会員に対し全員黙禱を捧げた。同窓会創立80周年記念募金状況報告が福本理事からあり、会計現状報告が菊池会計理事から行われた。

議事

第一号議案、第2号議案、第3号議案を一括上程菊池、関口両会計担当理事により提案の説明があり、滝監事から適正に処理されている旨の監査報告後、原案通り承認され可決確定した。



昼食休憩の後、再開され第4号議案が菊池理事から説明され可決確定した。次に第5、6、7号議案が一括上程され、福本・菊池理事が提案理由の説明を行ったが、特に第6号議案は会費年額2,000円の値上げ案であったので、鳴神・伊藤・佐々木・小滝・村越の各評議員から関連した事項の質疑が行われた後承認され可決確定された。第8号・9号議案については両会計理事から説明がなされ、三島・蒲・小滝・村越・田辺・荻野の各評議員から貴重なご意見をいただき、質疑のあとこれを可決した。

第10号議案は河邊会長から推薦理由の説明があり、鈴木弘造名誉教授と秋山誠一郎名誉教授を本会の名誉会員に推薦、全会一致でこれを可決した。つづいて第11号議案も会長が提案理由を説明し、昭和57年度叙勲、褒章受章者顕彰に関する件で、晴れの叙勲・褒章を受けられた16名の諸先生を顕彰することに全会一致で決定した。議長挨拶の後、板垣副会長の閉会の辞により全日程を終了した。

関口恵造、井上裕、浅井美幸後援会総会

評議員会に引続き東京歯科大学同窓会3後援会総会が開会され、斉藤静三会長の挨拶にはじまり、座長に斉藤会長が着き、鹿島理事長、松宮学長の祝辞、三宅、浅井後援会幹事長より会計現況報告があり協議に入った。山崎、関口後援会幹事長より昭和56年度決算の説明があり、鈴木貞一監事の監査報告の後この件を満場一致で承認した。

次いで浅井美幸議員から老人保健法案の経緯を

中心に国会報告と謝辞が述べられ、伊丹副会長の閉会のことばで終了した。

第88回同窓会定時総会

午後3時50分斉藤昇総務担当理事の司会により安嶋副会長の閉会の辞、河邊会長の挨拶、来賓紹介後、鹿島理事長、松宮学長の祝辞につづき山崎日歯会長から世界各国から頼られる日歯のFDI東京大会等についての報告と挨拶、そして矢島父兄会長挨拶があり、関口議員からの祝電披露につづき、武井芳弘議長、坂本豊美副議長を選出し、議事録署名人には愛知正晴、氏家英峰の両氏が指名された。

昭和57年度会務報告、80周年記念募金状況報告、昭和57年度評議員会報告、昭和58年度経常部並びに特別会計収支予算に関する件の報告が理事者からあった。議事にはいり第1号から3号議案まで一括上程、滝監事の監査報告の後可決確定し、報告、議事ともに無事終了した。

引続き、顕彰式をめでたく開式、河邊会長より顕彰状と記念品が壇上の受章者一人一人に贈呈され、青森の宮崎芳雄先生(昭7)から謝辞が述べられ、吉川会長の閉会の辞で総会を閉じた。

会場が暗くなり、中久喜理事より水道橋から千葉校舎への移転と建設の記録映画「稲毛の杜へ」の紹介とビデオ・8mmの頒布の説明があり35分のすばらしい映画を楽しみ、午後6時席をうつして盛大な懇親パーティーが和気あいあいの中で催された。



東京歯科大学同窓会評議員会

昭和57年11月13日（土）午前10時～午後2時30分

- | | | |
|-------------------------------------|--|---|
| 1. 開会の辞 | | (監事報告) |
| 1. 点呼 | 第4号議案 | 東京歯科大学同窓会進学指導セミナー事業終了に伴う余剰金の經常部（雑収入）への繰入に関する件 |
| 1. 会長挨拶 | 第5号議案 | 昭和58年度 東京歯科大学同窓会事業計画に関する件 |
| 1. 来賓挨拶 | 第6号議案 | 昭和58年度 東京歯科大学同窓会入会金および会費に関する件 |
| 1. 議長, 副議長選出 | 第7号議案 | 昭和58年度 東京歯科大学同窓会經常部収支予算に関する件 |
| 1. 議事録署名人選出 | 第8号議案 | 昭和58年度 東京歯科大学同窓会共済負担金に関する件 |
| 1. 報告 | 第9号議案 | 昭和58年度 東京歯科大学同窓会特別会計収支予算に関する件（同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同窓会創立80周年記念募金事業） |
| (1) 昭和57年度会務報告 | 第10号議案 | 昭和57年度 名誉会員の推薦に関する件 |
| (2) 同窓会創立80周年記念募金（東京歯科大学施設整備資金）状況報告 | 第11号議案 | 昭和57年度 叙勲, 褒章受章者顕彰に関する件 |
| (3) 昭和57年度会計現状報告 | | |
| 1. 議事 | | |
| 第1号議案 昭和56年度 | 東京歯科大学同窓会經常部収支決算に関する件 | |
| 第2号議案 昭和56年度 | 東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同窓会創立80周年記念募金事業） | |
| 第3号議案 昭和56年度 | 東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件 | |

1. 閉会の辞

第88回東京歯科大学同窓会定時総会

昭和57年11月13日（土）午後3時40分～午後5時00分

- | | |
|----------------|---|
| 1. 開会の辞 | (2) 同窓会創立80周年記念募金（東京歯科大学施設整備資金）状況報告 |
| 1. 会長挨拶 | (3) 昭和57年度 評議員会報告 |
| 1. 来賓挨拶 | (4) 昭和58年度 東京歯科大学同窓会經常部並びに特別会計収支予算に関する件 |
| 1. 議長, 副議長選出 | |
| 1. 議事録署名人選出 | |
| 1. 報告 | |
| (1) 昭和57年度会務報告 | 1. 議事 |

第1号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件

第2号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金、血協記念基金、共済基金、名簿積立金、退職

積立金、同窓会創立80周年記念募金事業）

第3号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件

（監事報告）

1. 叙勲、褒章受章者顕彰式
1. 閉会の辞

昭和57年度東京歯科大学同窓会会務報告

自 昭和56年10月1日～至 昭和57年9月30日

1. 現在会員数 8,357名
 - 内 名誉会員 26名
 - 高年齢会員 694名
2. 会員の移動
 - 新入会員 149名
 - (本年度卒業生 147名)
 - (他 2名)
 - 逝去会員 132名
 - 退会会員 1名
3. 会議
 - 評議員会 1回
 - 理事会 6回
 - 定時総会 1回
 - 常任理事会 8回
 - 顧問会 1回
 - 役員打合せ 19回
 - 地域支部連合会会長 1回
 - 各種委員会等 52回
 - 東歯関係日歯役員、代議員、都道府県歯会長、同窓会役員懇談会 4回
 - 卒後研修セミナー 7回
 - 全国歯科大学同窓、校友会懇話会 2回
4. 役員出張 119回
5. 支部数 112支部
6. 地域支部連合会数 11支部連合会
 - 北海道地域、東北地域、関東地域、東京地域、信越地域、東海地域、北陸地域、近畿地域、中国地域、四国地域、九州地域（含沖縄）

7. 会務報告

昭和56年

- 10月1日 役員打合せ（在京副会長、総務、渉外部担当理事）
- 1日 卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
- 3日 会計監査 滝、高木監事 立会 河邊会長、伊丹、安嶋副会長 関口、福本、津島、菊池理事
- 3日 地域支部連合会会長会
- 3日 同窓会顧問会
- 5日 広報部委員会（企画）
- 6日 副会長正岡健夫氏逝去（午後4時54分）
- 8日 役員打合せ（共済部担当理事）
- 8日 学術部委員会（進学指導セミナー担当）
- 8日 副会長 故正岡健夫氏葬儀 熱田理事参列
- 17日 全国歯科大学同窓、校友会懇話会 伊丹副会長、福本、熱田、天野理事出席
- 17日 東海地域支部連合会総会 井上名誉会長、津島、伊藤理事出張
- 17日 北陸地域支部連合会総会 安嶋副会長、浜野、白崎理事長出張
- 17日 新潟県支部総会 阿部副会長出張
- 20日 会報第203号発送
- 20日 常任理事会
- 22日 卒後研修特別委員会（合同）

- 24日 広島県支部総会 安嶋副会長出張
- 25日 副会長 故正岡健氏愛媛県歯科医師会葬 井上名誉会長、天野理事参列
- 29日 役員打合会（会長、在京副会長、総務、会計、渉外、学術、共済部担当理事）
- 11月 3日 大阪歯科大学創立70周年記念式典、第8回全国同窓会会員大会 伊丹副会長出張
- 5日 理事会
- 6日 昭和56年度評議員会第87回定時総会（午前10時 於高輪プリンスホテル）
- 昭和56年度諸報告、昭和57年度諸議案何れも原案通り可決確定
- 叙勲、褒章受章顕彰者（敬称略）掛場久精、宮下寅之進、吉崎久、菅野将雄、神崎 正、佐藤 一、松宮誠一、浜田謹之助、小泉徳蔵、辻村松一、菊池文雄、井上 真、鈴木貞一（以上13名ご出席）
- 7日 千葉校舎竣工式並びに祝賀会（竣工式午前10時、祝賀会午後1時、）河邊会長他役員列席
- 8日 大学創立90周年記念式典並びに祝賀会（記念式典午後1時、祝賀会午後3時）河邊会長他役員列席
- 10日 広報部委員会（編集）
- 11日 卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
- 13日 第10回ゴルフ大会 河邊会長、井上名誉会長出張
- 14日 九州地域支部連合会総会 伊丹副会長、野上、林理事出張
- 23日 近畿地域支部連合会総会 河邊会長、杉山、林理事出張
- 27日 東京地域支部連合会総会 河邊会長、海老原理事出張
- 30日 卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
- 12月 5日 神奈川県支部連合同窓会総会 伊丹副会長出張
- 5日 南信支部総会 阿部副会長出張
- 6日 千葉県支部総会 河邊会長出張
- 9日 卒後研修特別委員会（会計小委員会）
- 10日 父兄会懇親会 河邊会長出席
- 11日 広報部委員会（企画）
- 11日 日本橋支部総会 河邊会長出張
- 12日 浅草支部総会 伊丹副会長出張
- 12日 山梨県支部総会 安嶋副会長出張
- 12日 茨城県支部総会 中久喜理事出張
- 14日 卒後研修特別委員会（合同）
- 15日 大学支部総会 中久喜、浜野理事出張
- 16日 共済部委員会
- 16日 元同窓会長 故田丸将士氏葬儀 河邊会長、井上名誉会長、安嶋副会長参列
- 17日 役員打合会（総務、会計担当理事）
- 19日 理事会
- 20日 栃木県支部総会 安嶋副会長出張
- 25日 会報第204号発送
- 昭和57年
- 1月 1日 新年交歓会 河邊会長、井上名誉会長他役員出席
- 8日 千代田支部懇談会 伊丹副会長出張
- 12日 下谷、浅草支部合同懇談会 河邊会長出張
- 15日 東京医科歯科大学歯科同窓会名刺交換会 河邊会長出席
- 18日 役員打合会（総務、会計担当理事）
- 19日 卒後研修セミナー講師打合会
- 20日 荏原支部懇談会 河邊会長出張
- 23日 理事会（新・旧役員合同）
- 23日 松宮誠一先生叙勲祝賀会 河邊会長他役員出席
- 23日 品川支部懇談会 河邊会長出張
- 23日 神奈川歯科大学東京支部連合会懇談会 安嶋副会長出張
- 23日 世田谷支部懇談会 伊丹副会長出

- 張
- 23日 卒後研修セミナー講師打合せ
- 30日 神奈川県支部連合同窓会懇談会
河邊会長出張
- 2月1日 卒後研修特別委員会(合同)
- 5日 役員打合せ(会長, 副会長, 総務, 渉外担当理事)
- 5日 役員打合せ(共済担当理事)
- 6日 東歯関係日歯役員, 代議員, 都道府県歯会長, 同窓会役員懇談会
河邊会長他役員出席
- 13日 北多摩支部総会 中久喜, 福島理事出張
- 16日 常任理事会
- 19日 卒後研修セミナー講師打合せ
- 20日 卒後研修セミナー(開講) 河邊会長出席
- 21日 三重県支部総会 福本理事出張
- 23日 広報部委員会(企画)
- 24日 卒後研修セミナー講師打合せ
- 25日 卒後研修セミナー講師打合せ
- 26日 広島県支部長 故中川俊彦氏葬儀
安嶋副会長参列
- 3月3日 卒後研修特別委員会(合同)
- 5日 千葉校舎記念品(父兄会)贈呈式
吉川副会長列席
- 8日 学術部委員会
- 11日 東歯関係日歯役員, 代議員, 都道府県歯会長, 同窓会役員懇談会
河邊会長他役員出席
- 12日 新入会員(新卒者)オリエンテーション(於 千葉校舎)福本, 中久喜, 溝上理事出席
- 13日 第87回東京歯科大学卒業証書授与式 河邊会長他役員列席
- 13日 卒後研修セミナー(第2回)
- 15日 広報部委員会(編集)
- 20日 理事会
- 21日 大分県支部総会 山脇副会長, 杉山理事出張
- 23日 役員打合せ(会長, 在京副会長, 総務, 会計, 渉外, 学術共済部理事各主任)
- 24日 会報第205号発送
- 25日 歯科衛生士専門学校卒業式 河邊会長列席
- 28日 兵庫県支部総会 河邊会長出張
- 29日 学術部委員会
- 4月2日 卒後研修特別委員会(合同)
- 3日 東京歯科大学入学式 河邊会長他役員列席
- 9日 卒後研修セミナー講師打合せ
- 9日 卒後研修特別委員会(企画小委員会)
- 14日 広報部委員会(企画)
- 15日 役員打合せ(共済部担当理事)
- 15日 卒後研修特別委員会(合同)
- 17日 卒後研修セミナー(第3回)
- 17日 卒後研修セミナー講師, 受講者懇談会 伊丹副会長出席
- 19日 卒後研修セミナー講師打合せ
- 20日 常任理事会
- 24日 福岡県支部総会 吉川副会長, 津島理事出張
- 26日 学術部委員会
- 28日 常任理事会
- 5月10日 卒後研修特別委員会(全体委員会)
(注 従来(の)合同委員会を全体委員会に改称)
- 11日 役員打合せ(在京副会長, 総務, 会計, 渉外, 学術部担当理事各主任)
- 13日 役員打合せ(共済部担当理事)
- 15日 卒後研修セミナー(第4回)
- 17日 広報部委員会(編集)
- 19日 学術部委員会
- 19日 会報第206号発送
- 20日 卒後研修特別委員会(83プログラム作成委員会)
- 22日 東北地域支部連合会総会 板垣副会長, 斎藤理事出張
- 22日 静岡県支部総会 伊丹副会長, 伊藤理事出張
- 22日 渋谷支部懇談会 安嶋副会長出張

- 22日 理事会
- 27日 埼玉県支部総会 安嶋副会長出張
- 28日 四谷支部総会 安嶋副会長出張
- 29日 全国歯科大学同窓、校友会懇話会
河邊会長、伊丹副会長、福本、
坂、天野理事出張
- 29日 父兄会総会 安嶋副会長出席
- 6月4日 役員打合会（共済部担当理事）
- 7日 卒後研修特別委員会（'83プログラム
作成委員会）
- 9日 役員打合会（共済部担当理事）
- 12日 秋田県支部総会 安嶋副会長出張
- 14日 卒後研修特別委員会（'83プログラ
ム作成委員会）
- 15日 常任理事会
- 16日 広報部委員会（企画）
- 19日 卒後研修セミナー（第5回）
- 19日 福島県支部総会 安嶋副会長出張
- 24日 役員打合会（会長、副会長、総
務、渉外部担当理事）
- 27日 広島県支部総会 伊丹副会長出張
- 28日 卒後研修セミナー講師打合会
- 28日 役員打合会（共済部担当理事）
- 7月3日 役員打合会（会計部担当理事）
- 6日 法人役員、教授懇談会 河邊会長
出張
- 6日 卒後研修特別委員会（'83プログラ
ム作成委員会）
- 7日 共済部委員会
- 10日 信越地域支部連合会総会 伊丹副
会長、浜野、池上理事出張
- 10日 城北六区連合会懇談会 安嶋副会
長出張
- 10日 } 岡山、兵庫県支部合同大会 河邊
11日 } 会長、山脇副会長出張
- 10日 理事会
- 12日 会報第207号発送
- 14日 広報部委員会（編集）
- 17日 卒後研修セミナー（第6回）
- 20日 卒後研修特別委員会（全体委員会）
- 24日 北陸地域支部連合会総会 井上名
誉会長、梅田、仲谷理事出張
- 28日 常任理事会
- 31日 東海地域支部連合会総会 河邊会
長、滝監事、伊藤理事出張
- 31日 東京都歯科医師会、本所歯科医師
会元会長 故矢吹水男氏葬儀 伊
丹副会長参列
- 8月1日 卒後研修特別委員会（将来計画検
討委員会）
- 10日 東歯関係日歯役員、代議員、都道
府県歯会長、同窓会役員懇談会
河邊会長他役員出席
- 12日 卒後研修特別委員会（'83プログラ
ム作成委員会）
- 21日 鳥根県支部総会 山脇副会長出張
- 21日 北海道地域支部連合会総会 河邊
会長、佐々木、松川理事出張
- 23日 役員打合会（会長、副会長、総務
部担当理事）
- 23日 常任理事会
- 25日 広報部委員会（企画）
- 25日 卒後研修特別委員会（'83プログラ
ム作成委員会）
- 27日 卒後研修特別委員会（資料作成問
題検討委員会）
- 30日 役員打合会（会長、副会長、総
務、渉外部担当理事）
- 9月1日 卒後研修特別委員会（将来計画検
討委員会）
- 3日 役員打合会（共済部担当理事）
- 8日 卒後研修特別委員会（全体委員会）
- 8日 会報208号発送
- 10日 } 長崎県、佐賀県支部罹災会員（水
12日 } 害）見舞 杉山、福島理事出張
- 11日 佐賀県支部総会 杉山、福島理事
出張
- 11日 四国地域支部連合会総会 山脇副
会長、関口、馬嶋理事出張
- 15日 大阪歯科大学同窓会副会長、元日
本歯科医師会専務理事 故野坂
暁氏葬儀 安嶋副会長参列
- 16日 学術部委員会
- 16日 広報部委員会（編集）

16日 東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯会長，同窓会役員懇談会
伊丹副会長他役員出席

18日 卒後研修セミナー（閉講） 伊丹副会長他役員出席

25日 会計監査 滝，高木監事
立合 伊丹，安嶋副会長，関口，中久喜，津島，菊池，浜野理事

25日 一志会四十周年記念式典 伊丹副会長列席

26日 横浜北部支部懇談会 伊丹副会長出張

28日 常任理事会

29日 卒後研修特別委員会委員，大学幹部懇談会 河邊会長他役員出席

顕彰状並びに記念品贈呈者名簿

(昭和57年11月13日)

(昭和56年5月21日褒章)

紺 綬 褒 章 成 田 実 〒171 東京都豊島区南長崎1-11-10

(昭和56年10月6日褒章)

紺 綬 褒 章 赤 堀 康 興 〒709-43 岡山県勝田郡勝央町勝間田171

(昭和57年春の叙勲)

勲四等瑞宝章 滝 義 胤 〒491 愛知県一の宮市本町1-4-19

勲四等瑞宝章 宮 崎 芳 雄 〒030 青森県青森市青柳2-2-17

勲五等双光旭日章 江 崎 清 〒857 長崎県佐世保市花園町202-2

勲五等双光旭日章 清 水 弥寿雄 〒951 新潟県新潟市東堀前通七番町1075

勲五等瑞宝章 山 田 辰 三 〒350 埼玉県川越市旭町3-6-17

(昭和57年春の褒章)

藍 綬 褒 章 斎 藤 光 生 〒359 埼玉県所沢市金山町11-18

(昭和57年7月2日褒章)

紺 綬 褒 章 大 石 孝 弘 〒171 東京都豊島区西池袋3-11-5

(昭和57年秋の叙勲)

勲五等双光旭日章 高 柳 秀 夫 〒340-01 埼玉県北葛飾郡幸手町中3-14-4

勲五等双光旭日章 重 浦 靖 治 〒150 東京都渋谷区広尾3-17-6

勲五等双光旭日章 高 橋 省 己 〒292 千葉県木更津市中央1-7-22

勲五等瑞宝章 杉 浦 実 〒428 静岡県榛原郡金谷町金谷1989-1

勲五等瑞宝章 佐 藤 一 〒792 愛媛県新居浜市若水町2-5-30

勲五等瑞宝章 阿 部 姓 式 〒464 愛知県名古屋市中千種区仲田2-1811

勲五等瑞宝章 国 沢 重 伸 〒780 高知県高知市旭駅前町6

(以上16名)

逝 去 会 員

昭和56年10月1日より昭和57年9月30日までに逝去された会員は次のとおりです。 (敬称略)

田中 健之助 (長崎)	関口 和夫 (日本橋)	正岡 健夫 (愛媛)	渡辺 一男 (品川)
石井 功時 (埼玉)	大迫 美義 (兵庫)	大塚 士平 (世田谷)	三宅 光一 (西三河)
松前 五郎 (尾張)	小船 不二男 (茨城)	能登原 保 (福岡)	盛田 秀雄 (西三河)
中嶋 賢 (宮城)	兵藤 弥夫 (世田谷)	杉浦 仁 (中野)	中野 義基 (湘南)
團 櫻 (横浜北)	玉井 俊治 (広島)	竹村 久 (町田)	石井 精一郎 (向島)
田代 芳鉄 (福岡)	林 善威 (十勝)	大坪 源一郎 (山形)	市川 暢夫 (埼玉)
赤沢 調 (兵庫)	角田 幸助 (宮城)	田丸 将士 (北多摩)	塩見 寿二 (兵庫)
光永 友紀 (新潟)	渡来 伊太郎 (千葉)	望月 正孝 (中信)	吉田 惣平 (静岡)
宮前 利八郎 (札幌)	山下 又次郎 (武蔵野)	五十子 嘉平 (山梨)	宇佐美 克磨 (横浜南)
酒井 広一 (品川)	小平 美智子 (浅草)	山尾 春男 (尾張)	上原 俊雄 (福岡)
柏川 英二 (淀橋)	玉井 琢治 (新潟)	神山 登己寿 (栃木)	藤正 政人 (玉川)
高橋 統男 (山形)	石川 融 (栃木)	松崎 武志 (十勝)	青木 達三郎 (栃木)
松田 常賀 (福岡)	高橋 初太郎 (渋谷)	阿部 博 (栃木)	杉山 秀夫 (兵庫)
市川 欣二 (足立)	矢部 久治 (山梨)	柳沢 音次郎 (千葉)	加地 一夫 (愛媛)
須藤 至 (埼玉)	小山 義雄 (北信)	北村 実 (北信)	中川 俊彦 (広島)
田辺 義雄 (兵庫)	木下 実 (兵庫)	中島 英 (香川)	萩原 史 (東信)
志村 忠一 (石川)	吉崎 久 (長崎)	清水 道雄 (岡山)	富田 隆雄 (京都)
近藤 正夫 (大森)	稲垣 金作 (横浜西)	大森 保 (岐阜)	高岡 好春 (愛媛)
小池 ちよ江 (東信)	中沢 明一郎 (中信)	片山 廉治 (福井)	永田 令藏 (大森)
亀谷 良雄 (尾張)	島田 金市 (東信)	渋谷 悦治 (福岡)	宇内 開治 (福島)
奥 富子 (岡山)	柳田 武 (岡山)	松田 俊男 (山口)	伊藤 友彦 (武蔵野)
鈴木 三国 (西多摩)	長竹 喜三郎 (栃木)	山口 長太郎 (群馬)	寺内 忠夫 (広島)
堀田 徳次郎 (足立)	中条 正道 (芝)	広田 弘 (大阪)	村田 実 (大森)
福田 若松 (芝)	細沢 忠重 (福井)	木村 幸人 (静岡)	北島 憲 (福岡)
色川 雅道 (日本橋)	飯野 志郎 (淀橋)	岡 光郎 (三重)	小野 利三郎 (静岡)
沢口 見 (秋田)	鈴木 一平 (札幌)	大井 保之 (西湘)	藤本 恵山 (広島)
飯尾 隆次 (町田)	田中 米二郎 (滋賀)	大越 勝男 (千葉)	千葉 桃八 (秋田)
岩崎 光義 (川崎)	村松 富次郎 (山梨)	田島 弘之 (尾張)	高橋 進次 (相北)
大川 豊太郎 (本所)	丸山 賀長 (中信)	栗原 修治 (福島)	山西 信広 (和歌山)
吉岡 達三 (青森)	永井 博 (京都)	栗山 一雄 (福島)	吉川 清雄 (尾張)
遠藤 駿三 (横須賀・鎌倉)	三輪 信男 (世田谷)	田高 善七 (杉並)	佐久間 茂夫 (千葉)
春山 正雄 (埼玉)	名倉 良介 (兵庫)	森野 武夫 (麴町)	鈴木 味幌 (横須賀・鎌倉)
丹野 豊 (栃木)	中島 一臣 (千葉)	出井 正七 (群馬)	藤井 立吾 (広島)

(届出順 以上 132名)

昭和57年度 東京歯科大学同窓会共済部報告

(自 昭和56年10月1日 至 昭和57年9月30日)

1. 火災、水害による罹災会員に共済規程第6条第1項第2号に基づき罹災共済金(見舞金)を贈呈した会員は次のとおりです。 (敬称略)

昭和56年

10月 福島県支部 五代儀 昭 床上浸水

10月 牛込支部 渡辺 吉明 床上浸水

昭和57年

2月 千葉県支部 大山口 敏 家屋全焼
 4月 下谷支部 近藤幸太郎 家屋全焼
 5月 岩手県支部 吉田 允 床上浸水
 岩手県支部 吉田 阿子 床上浸水
 杉並支部 原田 公雄 家屋半焼
 7月 長崎県支部 宮内 一郎 床上浸水
 長崎県支部 田代 弥平 床上浸水
 長崎県支部 馬渡 種二 床上浸水

長崎県支部 森口 時雄 床上浸水
 長崎県支部 橋本 寿丸 床上浸水
 長崎県支部 宮内 孝雄 床上浸水
 長崎県支部 古川 勝 床下浸水
 7月 佐賀県支部 深沢 五郎 床下浸水
 佐賀県支部 佐藤 曄 床下浸水
 8月 三重県支部 山口 幸夫 床上浸水
 以上17名

2. 逝去会員に共済規程第6条第1項第1号に基づき弔慰共済金を贈呈した会員は次のとおりです。
 (敬称略)

牟礼	信弥	(京)	都)	山	口	周	一	(京)	都)	久保	謙	郎	(愛)	媛)	平	野	清	春	(三)	重)	
佐藤	増健	治助	(山)	徳	永	千	之	(福)	岡)	大曾	晋	夫	(世)	媛)	水	野	茂	夫	(西)	湘)	
田中	功五	時郎	(尾)	関	口	和	夫	(兵)	庫)	根岡	健士	平	(世)	媛)	渡	辺	一	男	(品)	川)	
石井	賢櫻	賢櫻	(宮)	大	追	美	二	(笑)	城)	塚原	保	仁	(中)	野)	三	宅	光	秀	雄	(西)	三河)
中團	善幸	助	(宮)	兵	船	不	夫	(世)	田)	杉浦	久	(町)	野)	田	田	秀	義	基	(湘)	南)	
林角	伊平	平	(山)	玉	井	弥	治	(山)	形)	竹村	暢	二	(兵)	庫)	赤	沢	友	鉄	(福)	岡)	
渡来	嘉春	男	(尾)	望	丸	源	一	(中)	信)	市川	利八	一	(品)	川)	光	永	友	紀	(新)	潟)	
五山	登己	志	(十)	宇	月	将	士	(北)	多)	塩宮	英	統	(山)	形)	小	平	美	智	(新)	潟)	
神松	武博	博	(十)	上	正	政	人	(玉)	川)	高橋	常	賀	(福)	岡)	石	川	融	初	(泖)	谷)	
阿柳	音次	英	(香)	中	木	秀	夫	(兵)	庫)	市川	藤	至	(石)	川)	高	矢	久	治	(山)	梨)	
北中	道保	治	(福)	荻	川	隆	春	(愛)	媛)	志近	池	忠	(大)	森)	小	吉	金	作	(長)	崎)	
清大	廉悦	治男	(山)	高	岡	好	藏	(大)	森)	小龜	谷	富	(尾)	張)	稻	垣	明	一	(中)	信)	
片江	俊長	太郎	(群)	宇	内	令	治	(福)	島)	奥鈴	木	三	(西)	多)	中	島	金	市	(東)	山)	
松田	憲三	郎	(福)	伊	藤	友	彦	(武)	蔵)	鈴中	野	志	(淀)	橋)	柳	竹	喜	三	(栃)	木)	
山口	利三	郎	(廣)	福	内	若	道	(日)	本)	細飯	野	一	(札)	幌)	大	田	幸	弘	(大)	阪)	
北小	惠桃	八次	(相)	沢	川	隆	義	(川)	信)	鈴田	米	二	(滋)	賀)	岡	井	保	勝	(西)	湘)	
藤本	桃進	博	(京)	飯	尾	光	長	(中)	信)	村松	富	次	(山)	梨)	大	田	弘	之	(千)	葉)	
千高	井輪	信介	(世)	栗	山	賀	七	(福)	島)	栗吉	修	治	(尾)	張)	山	遠	信	三	(和)	歌)	
永永	輪倉	良	(兵)	田	高	善	夫	(柳)	並)	佐久	間	茂	(千)	葉)	春	山	駿	正	(横)	須)	
三名				森	野	武		(麴)	町)											(崎)	玉)

以上130名

昭和56年度 東京歯科大学同窓会経常部収支決算書

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し減額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
会 費	62,529,600	58,929,200	△ 3,600,400	{昭和36～39年度 700円× 89人 40～42年度1,200円× 68人 43～47年度1,700円× 167人 48年度3,200円× 52人 49年度3,500円× 68人 50年度6,000円× 74人 51年度7,000円× 95人 52年度8,000円× 101人 53年度8,000円× 162人 54年度8,000円× 203人 55年度10,000円× 917人 56年度10,000円× 4,409人 {新卒 5,000円×170人 {他 50,000円× 2人 広告料, 利息, その他 含 特別助成金 2,000,000 {三菱普通 8,731,779 {三菱定期 10,320,000 郵便振替残高 17,508
入 会 金	950,000	950,000	0	
雑 収 入	1,250,000	1,756,173	506,173	
研 修 会 等 収 入	10,000	0	△ 10,000	
助 成 金	3,000,000	3,000,000	0	
前 年 度 繰 越 金	13,000,000	19,069,287	6,069,287	
合 計	80,739,600	83,704,660	2,965,060	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
事 務 費	44,480,000	40,813,662	△ 3,666,338	
給 与 費	15,830,000	14,648,717	△ 1,181,283	
旅 費 交 通 費	15,900,000	14,989,810	△ 910,190	
福 祉 厚 生 費	250,000	70,900	△ 179,100	
通 信 費	790,000	551,660	△ 238,340	
電 話 料	600,000	493,780	△ 106,220	
印 刷 費	1,220,000	1,036,172	△ 183,828	
備 品 購 入 費	1,100,000	977,800	△ 122,200	{ゼロックス購入 498,000 {会議用テーブル他購入 479,800
消 耗 品 費	180,000	185,721	5,721	
交 際 費	2,800,000	2,897,220	97,220	
慶 弔 費	1,350,000	1,440,000	90,000	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	摘 要
海外出張補助費	350,000	200,000	△ 150,000	
集 金 手 数 料	3,210,000	2,550,200	△ 659,800	
雑 費	900,000	771,682	△ 128,318	
事 業 費	22,600,000	20,001,098	△ 2,598,902	
広 報 関 係 費	19,000,000	17,892,567	△ 1,107,433	
渉 外 費	2,000,000	980,647	△ 1,019,353	
研 修 会 等 学 術 関 係	600,000	513,500	△ 86,500	
会 合 費	500,000	431,974	△ 68,026	
講 師 派 遣 交 通 費	400,000	145,180	△ 254,820	
雑 費	100,000	37,230	△ 62,770	
会 議 費	3,600,000	3,160,323	△ 439,677	
役 員 会	600,000	657,593	57,593	
評 議 員 会 ・ 支 部 長 会	1,900,000	2,502,730	△ 397,270	
総 会 費	1,000,000			
雑 費	100,000	0	△ 100,000	
予 備 費	3,089,600	0	△ 3,089,600	
特別会計への繰入	6,970,000	6,970,000	0	
同 窓 会 基 金	3,270,000	3,270,000	0	入 会 金 950,000 特 別 助 成 金 2,000,000 割 引 電 信 電 話 320,000 債 券 償 還 金
血 脇 記 念 基 金	100,000	100,000	0	
名 簿 積 立 金	3,000,000	3,000,000	0	
退 職 積 立 金	600,000	600,000	0	
小 計	80,739,600	70,945,083	△ 9,794,517	
次 年 度 繰 越 金	0	12,759,577	12,759,577	三 菱 普 通 2,741,569 三 菱 定 期 10,000,000 郵 便 振 替 残 高 18,008
合 計	80,739,600	83,704,660	2,965,060	

昭和56年度 東京歯科大学同窓会同窓会基金収支決算書

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	3,270,000	{ <ul style="list-style-type: none"> 入会金 950,000 特別助成金 2,000,000 割引電信電話 320,000 債券償還金 			
同窓会創立80周年記念募金事業より	1,296,169	同窓会創立80周年記念募金事業終了による繰入	同窓会創立80周年記念募金事業へ繰入	2,000,000	
雑収入	924,303	利息			
前年度繰越金	14,012,990	{ <ul style="list-style-type: none"> 三菱普通 25,069 三菱定期 5,900,000 安田貸付信託 5,360,000 安田金銭信託 2,727,921 	次年度繰越金	17,503,462	{ <ul style="list-style-type: none"> 三菱普通 19,076 三菱定期 8,860,000 安田貸付信託 5,360,000 安田金銭信託 3,264,386
合 計	19,503,462		合 計	19,503,462	

昭和56年度 東京歯科大学同窓会血脇記念基金収支決算書

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	100,000				
雑収入	126,732	利息			
前年度繰越金	2,212,095	三菱定期 2,212,095	次年度繰越金	2,438,827	三菱定期 2,438,827
合 計	2,438,827		合 計	2,438,827	

昭和56年度 東京歯科大学同窓会共済基金収支決算書

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

取 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
共済負担金	24,575,300	昭和36～42年度 300円× 157人 昭和43～48年度 800円× 224人 昭和49～51年度 1,500円× 246人 昭和52～53年度 2,000円× 287人 昭和54～55年度 3,000円×1,246人 昭和56年度 4,000円×4,917人	共 済 金	24,960,000	1) 弔慰共済金 24,280,000 20万円×116人 18万円× 6人 2) 罹災共済金 680,000 20万円× 1人 12万円× 4人
寄 付 金	200,000	故佐々木重衛門氏遺族	事 務 費	108,050	通信費, その他
雑 収 入	451,869	利 息	次年度繰越金	10,136,059	三菱普通 2,121,163 三菱定期 6,000,000 安 田 貸付信託 1,000,000 安 田 金銭信託 1,014,896
前年度繰越金	9,976,940	三菱普通 3,082,031 三菱定期 5,000,000 安 田 貸付信託 1,000,000 安 田 金銭信託 894,909	合 計	35,204,109	合 計
合 計	35,204,109				

昭和56年度 東京歯科大学同窓会名簿積立金収支決算書

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

取 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	3,000,000		次年度繰越金	7,756,029	三菱普通 76,029 三菱定期 7,680,000
雑 収 入	264,847	利 息	合 計	7,756,029	合 計
前年度繰越金	4,491,182	三菱普通 41,182 三菱定期 4,450,000			
合 計	7,756,029				

昭和56年度 東京歯科大学同窓会退職積立金収支決算書

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

取 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	600,000		退職金	542,400	勝村事務員 昭56 7.31退職
雑収入	66,707	利息	次年度繰越金	1,689,866	{ 三菱普通 59,866 三菱定期 1,630,000
前年度繰越金	1,565,559	{ 三菱普通 215,559 三菱定期 1,350,000	合 計	2,232,266	
合 計	2,232,266				

昭和56年度 東京歯科大学同窓会同窓会創立80周年記念募金事業特別会計収支決算書

(東京歯科大学施設整備資金募金)

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

取 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
同窓会基金より	2,000,000		募金諸費	3,215,265	{ 旅費交通費 1,520,390 通信費 295,820 印刷費 131,685 会合費 1,082,730 雑費 184,640
雑収入	89,095	利息			
前年度繰越金	2,422,339	三菱普通 2,422,339	同窓会基金への繰入	1,296,169	{ 同窓会創立80周年記念募金事業終了のため繰入
合 計	4,511,434		合 計	4,511,434	

昭和56年度 東京歯科大学同窓会財産目録

昭和56年12月31日

1. 備品 (購入価格3万円以上)

	品 目	数 量	購入年月	購入価格	備 考
1	宛 名 印 刷 機	1	51. 8	485,000	
2	冷 蔵 庫	1	54. 6	84,000	
3	ル ー ム ク ー ラ ー	1	54. 7	372,800	
4	タ イ プ ラ イ タ ー	1	54. 12	232,000	
5	ゼロックス (2350型) キャビネット付	1	56. 6	498,000	
6	会 議 用 テ ー ブ ル	4	56. 12	150,000	@ 37,600
7	会 議 用 椅 子	10	56. 12	266,000	@ 26,600
8	ホ ー ル ス タ ン ド	2	56. 12	63,400	@ 31,700
計	8 品 目	21		2,151,200	

2. 定期預金、普通預金

会 計 区 分	種 類	預 金 現 在 高	取 引 銀 行 名
(1) 經 常 部	定期預金	5,000,000	三菱銀行 神保町支店
	〃	5,000,000	〃
	普通預金	2,741,569	〃
	郵便振替残高	18,008	東京地方貯金局
	小 計	12,759,577	
(2) 同 窓 会 基 金	定期預金	5,340,000	三菱銀行 神保町支店
	〃	320,000	〃
	〃	900,000	〃
	〃	1,000,000	〃
	〃	1,300,000	〃
	普通預金	19,076	〃
	貸付信託	5,360,000	安田信託銀行 神田支店
	金銭信託	3,264,386	〃
小 計	17,503,462		
(3) 血 腸 記 念 基 金	定期預金	2,438,827	三菱銀行 神保町支店
(4) 共 済 基 金	定期預金	2,000,000	三菱銀行 神保町支店
	〃	2,000,000	〃
	〃	2,000,000	〃
	普通預金	2,121,163	〃
	貸付信託	1,000,000	安田信託銀行 神田支店
	金銭信託	1,014,896	〃
	小 計	10,136,059	
(5) 名 簿 積 立 金	定期預金	1,580,000	三菱銀行 神保町支店
	〃	3,000,000	〃
	〃	3,100,000	〃
	普通預金	76,029	〃
小 計	7,756,029		
(6) 退 職 積 立 金	定期預金	1,630,000	三菱銀行 神保町支店
	普通預金	59,866	〃
小 計	1,689,866		
合 計		52,283,820	

監 査 報 告

昭和56年度東京歯科大学同窓会経常部収支決算書，特別会計収支決算書，（即ち，同窓会基金決算，血脇記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算，同窓会創立80周年記念募金事業決算）及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

昭和57年9月25日

監 事 滝 義 胤 ㊟

監 事 高 木 圭 二 郎 ㊟

昭和58年度 事 業 計 画

総 務 部

1. 諸会合の準備と調整並びに運営を行う。
2. 会員の入退会の迅速なる確認を行い，かつ会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
3. 母校，父兄会，学生との連携を図る。

会 計 部

1. 経常部および特別会計収支予算の適正なる運用を図る。
2. 会費，負担金，その他の費用の収納に努め，預金，現金，備品等の適正なる管理を図る。

渉 外 部

1. 各歯科大学同窓会との交流を図り，一層緊密なる友好を深める。
2. 同窓会員の歯科医政関係者と緊密な連携を保ち懇談会などを開催し医政の推進を図る。

学 術 部

1. 学術委員会の機能を強化して，企画運営の向上を図る。
2. 東京歯科大学の協力のもとにTDC卒後研修セミナーを系統的に開催する。
3. 学術関係記事を会報に掲載する。
4. 同窓の母校一日入学を斡旋する。
5. 入学試験問題集を作成する。

広 報 部

1. 会報を年6回発行し，会員との情報交換を図る。
2. 会員名簿を編集し，発行する。

共 済 部

1. 共済制度の健全なる運営と内容の充実を図る。

昭和58年度 東京歯科大学同窓会経常部収支予算

(自 昭和58年1月1日 至 昭和58年12月31日)

(収入の部)

△印=前年度に比較し減額の場合

科 目	昭57年度予算	昭58年度予算	前年度との比較	摘 要
会 費	64,905,000	76,730,500	11,825,500	{ 1,200円× 50人 1,700円× 70人 3,200円× 45人 3,500円× 45人 6,000円× 50人 7,000円× 50人 8,000円× 200人 10,000円× 1,230人 12,000円× 5,100人 (昭和58年度改定) 計 6,890人
入 会 金	835,000	930,000	95,000	新卒 5,000円× 166人 他 50,000円× 2人
雑 収 入	1,615,000	6,770,000	5,155,000	{ 広告料(含名簿作製時等)問 題集売上げ, 事務手数料, そ の他
研修会等収入	10,000	10,000	0	
助 成 金	2,000,000	1,000,000	△ 1,000,000	
前年度繰越金	12,000,000	10,000,000	△ 2,000,000	
合 計	81,365,000	95,440,500	14,075,500	

(支出の部)

科 目	昭57年度予算	昭58年度予算	前年度との比較	摘 要
事 務 費	45,159,000	51,998,000	6,829,000	
給 与 費	17,230,000	17,820,000	590,000	
旅 費 交 通 費	16,700,000	18,870,000	2,170,000	
福 祉 厚 生 費	250,000	551,000	301,000	含会務遂行中の傷害保険料
通 信 費	750,000	880,000	130,000	含試験問題集送料
電 話 料	600,000	600,000	0	
印 刷 費	950,000	3,600,000	2,650,000	含試験問題集作成費
備 品 購 入 費	1,000,000	500,000	△ 500,000	
消 耗 品 費	150,000	180,000	30,000	
交 際 費	1,900,000	2,000,000	200,000	
慶 弔 費	1,560,000	2,200,000	640,000	{ 供花料 1件12,000円を15,000 円に改定
海外出張補助費	300,000	350,000	50,000	
集 金 手 数 料	3,259,000	3,847,000	588,000	{ 昭和58年度集金手数料1件 {500円を600円に改定
雑 費	620,000	600,000	△ 20,000	

科 目	昭57年度予算	昭58年度予算	前年度との比較	摘 要
事業費	23,700,000	25,990,000	2,290,000	含支部長退任時記念品代
広報関係費	19,400,000	20,740,000	1,340,000	
渉外費	2,500,000	3,100,000	600,000	
研修会等学術関係	600,000	600,000	0	
会合費	500,000	800,000	300,000	
講師派遣交通費	300,000	300,000	0	
雑費	400,000	450,000	50,000	
会議費	3,800,000	3,880,000	80,000	
役員会	700,000	780,000	80,000	
評議員会・支部長会	2,000,000	2,000,000	0	
総会費	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	
予備費	3,161,000	5,442,500	2,281,500	
特別会計への繰入	5,535,000	8,130,000	2,595,000	
同窓会基金	1,835,000	930,000	△ 905,000	名簿作製, 発送料等の繰入金
血協記念基金	100,000	100,000	0	
名簿積立金	3,000,000	6,500,000	3,500,000	
退職積立金	600,000	600,000	0	
合 計	81,365,000	95,440,500	14,075,500	

昭和58年度 東京歯科大学同窓会同窓会基金収支予算

(自 昭和58年1月1日 至 昭和58年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	930,000	入会金	繰越金	22,080,000	
雑収入	950,000	利息, その他			
前年度繰越金	20,200,000				
合 計	22,080,000		合 計	22,080,000	

昭和58年度 東京歯科大学同窓会血脇記念基金収支予算

(自 昭和58年1月1日 至 昭和58年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	100,000				
雑 収 入	130,000	利息, その他	繰 越 金	2,830,000	
前年度繰越金	2,600,000				
合 計	2,830,000		合 計	2,830,000	

昭和58年度 東京歯科大学同窓会共済基金収支予算

(自 昭和58年1月1日 至 昭和58年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
共済負担金	28,572,000	$300円 \times 50人$ $800円 \times 115人$ $1,500円 \times 150人$ $2,000円 \times 140人$ $3,000円 \times 160人$ $4,000円 \times 1,270人$ $4,000円 \times 5,600人$ 計 7,485人	共 済 金	27,200,000	弔慰共済金 25,200,000円 (20万円 \times 126人) 罹災共済金 2,000,000円 (火災, 風水害, 地震)
寄 付 金	100		事 務 費	300,000	
雑 収 入	350,000	利息, その他	予 備 費	13,422,100	
前年度繰越金	12,000,000				
合 計	40,922,100		合 計	40,922,100	

昭和58年度 東京歯科大学同窓会名簿積立金収支予算

(自 昭和58年1月1日 至 昭和58年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	6,500,000				
雑 収 入	400,000	利息, その他	名簿作製費	17,000,000	{名簿作製, 発送料等に 要する経費}
前年度繰越金	11,000,000		繰 越 金	900,000	
合 計	17,900,000		合 計	17,900,000	

昭和58年度 東京歯科大学同窓会退職積立金収支予算

(自 昭和58年1月1日 至 昭和58年12月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
経常部より	600,000				
雑収入	150,000	利息, その他	繰越金	3,180,000	
前年度繰越金	2,430,000				
合 計	3,180,000		合 計	3,180,000	

昭和57年度名誉会員推薦名簿

本会会則第22条第2項並びに施行細則第8条第1項第1号に基づき次の会員を本会名誉会員に推薦する。

名誉教授 鈴木 弘 造 氏

元東京歯科大学教授(昭和56. 11. 25停年退職)

(市川病院内科学主任教授, 内科部長)

昭和56年11月26日東京歯科大学名誉教授の称号授与

名誉教授 秋 山 誠 一 郎 氏

元東京歯科大学教授(昭和57. 3. 31 依願退職)

(進学課程心理学教授, 学生主任)

昭和57年4月1日東京歯科大学名誉教授の称号授与

昭和56年度 東京歯科大学同窓会卒後研修セミナー収支決算書（第6年次）

（自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日）

（収入の部）

△印＝予算額に比較し減額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
受 講 料 （第6年次）	39,960,000	42,300,000	2,340,000	本年度収入@12万×129人@6万×195人 27,180,000 前年度収入繰越金振替（前受金）15,120,000
受 講 料 （第7年次）		5,820,000	5,820,000	
雑 収 入	965,370	2,105,714	1,140,344	利息，その他
前年度繰越金	22,597,822	22,597,822		前年度繰越金37,717,822円の内15,120,000円 第6年次前受金のため受講料収入に振替
合 計	63,523,192	72,823,536	9,300,344	

（支出の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
講師謝礼費(A)	4,280,000	4,280,000	0	講師延人数 20名
(B)	1,100,000	666,655	△ 433,345	延人数 31名
資料作成費	1,700,000	660,000	△ 1,040,000	延人数 20名
役 務 費	2,300,000	1,455,540	△ 844,460	補助員，その他
事務委託費	1,440,000	1,440,000	0	56/1～56/12
設 営 費	14,023,192	9,895,244	△ 4,127,948	7回（延日数7日）経団連会館
旅費交通費	9,000,000	5,907,540	△ 3,092,460	
通 信 費	1,500,000	1,959,020	459,020	
印 刷 費	5,000,000	4,598,415	△ 401,585	
消 耗 品 費	100,000	75,540	△ 24,460	
資材備品費	500,000	198,160	△ 301,840	
受講証関係費	1,400,000	1,343,100	△ 56,900	
会 議 費	5,000,000	4,160,246	△ 839,754	
広 告 費	800,000	408,000	△ 392,000	
雑 費	300,000	278,820	△ 21,180	
渉 外 費	1,000,000	465,345	△ 534,655	
委託研究費	2,400,000	2,400,900	0	
予 備 費	7,180,000	0	△ 7,180,000	
積立金繰出	4,500,000	4,500,000	0	積立金会計に繰入
次年度繰越金		28,131,911	28,131,911	繰越金中第7年次前受金5,820,000円を含む 定期（富士銀行）25,000,000円，普通（富士銀行） 3,131,821円，郵便振替残高90円
合 計	63,523,192	72,823,536	9,300,344	

昭和56年度 東京歯科大学同窓会卒後研修セミナー積立金

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し減額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
前年度繰越金	8,500,000	8,500,042	42	前年度繰越金 内 訳 (1) 債券購入払込額 8,491,813円 (昭55.5.30購入) (第261回額面 9,130,000円 (昭56.6.27償還) (2) 普通預金 8,187円 (3) 普通預金利息 42円
雑 収 入		638,391	638,391	雑収入 内 訳 (1) 普通預金利息 204円 (2) 債券償還利息 638,187円 (第261回債券56.6.27償還)
当年度積立金	4,500,000	4,500,000	0	卒後研修セミナー会計より繰入 昭和56.2.27 4,500,000 内 訳 (1) 債券購入払込額 4,495,112 (56.2.27購入) (第269回額面 4,780,000円) (57.2.27償還) (2) 普通預金 4,888円
合 計	13,000,000	13,638,433	638,433	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
次年度繰越金	13,000,000	13,638,433	638,433	次年度繰越金 内 訳 (1) 債券購入払込額 ① 第269回割信 4,495,112円 (56.2.27購入) ② 第273回割信 9,138,360円 (56.6.27購入) 小 計 13,633,472円 (2) 普通預金 4,961円
合 計	13,000,000	13,638,433	638,433	

次年度繰越金 内訳

(1) 日本債券信用銀行渋谷支店

① 第269回割信購入払込額 4,495,112円 (56.2.27払込) 額面 4,780,000円 (57.2.27償還)

② 第273回割信購入払込額 9,138,360円 (56.6.27払込) 額面 9,660,000円 (57.6.26償還)

小 計 13,633,472円 14,440,000円

(2) 普通預金(日本債券信用銀行渋谷支店) 4,961円

合 計 13,638,433円

昭和56年度 東京歯科大学同窓会進学指導セミナー收支決算書 (第9回)

(自 昭和56年1月1日 至 昭和56年12月31日)

(収入の部)

△印=前年度決算額に比較し減額の場合

科 目	昭和55年度 (決算額)	昭 和 56 年 度 決 算 額			差 異	摘 要
		56.1.1～ 6.27まで	56.6.28～ 12.31まで	合 計		
受 講 料	16,455,000	17,525,000	△17,525,000	0	△16,455,000	{昭和56年度進学指導セ ミナー中止 {(昭56.6.29返金)
Aクラス	14,195,000	15,485,000	△15,485,000	0	△14,195,000	{Aクラス@95,000円× 163人=15,485,000
Bクラス	2,260,000	2,040,000	△2,040,000	0	△2,260,000	{Bクラス@20,000円× 102人=2,040,000
雑 収 入	995,635	480,508	300,248	780,756	△214,879	{問題集売上げ@6,000円 ×56組=336,000 利息 444,756
前年度繰越金	6,344,295	6,576,619	0	6,576,619	232,324	
合 計	23,794,930	24,582,127	△17,224,752	7,357,375	△16,437,555	

(支出の部)

科 目	昭和55年度 (決算額)	昭 和 56 年 度 決 算 額			差 異	摘 要
		56.1.1～ 6.27まで	56.6.28～ 12.31まで	合 計		
講師謝礼費	3,600,000	0	1,900,000	1,900,000	△1,700,000	講師7人
資料作成費	410,000	0	190,000	190,000	△220,000	講師7人
設 営 費	7,464,630	0	0	0	△7,464,630	
印 刷 費	1,997,888	281,610	1,758,500	2,040,110	42,222	受講案内, テキスト等
役 務 費	82,614	0	0	0	△82,614	
旅費交通費	1,671,220	1,020	170,000	171,020	△1,500,200	講師, その他
消 耗 品 費	66,180	6,529	9,880	16,409	△49,771	
会 議 費	1,642,664	520,891	749,361	1,270,252	△372,412	講師打合せ等
通 信 費	232,070	57,540	464,344	521,884	289,814	{受講料返金, テキスト等 送料
雑 費	51,045	5,940	18,000	23,940	△27,105	
支 出 計	17,218,311	873,530	5,260,085	6,133,615	△11,084,696	
未執行額	6,576,619	23,708,597	△22,484,837	1,223,760	△5,352,859	富士普通 1,223,760
合 計	23,794,930	24,582,127	△17,224,752	7,357,375	△16,437,555	

母校だより

★学位記授与

- 第285回(57. 3. 16)合格 第286回(57. 4. 19)授与
佐藤 裕(生化 第681号 乙359号)
本田 富彦(口外Ⅱ 第682号 乙360号)
市岡 功己(衛生 第683号 乙361号)
第285回(57. 3. 31)合格 第286回(57. 4. 19)授与
見明 康雄(病理Ⅰ 第684号 甲323号)
櫻井 薫(補綴Ⅰ 第685号 甲324号)
第286回(57. 4. 19)合格 第287回(57. 5. 10)授与
近藤 祥弘(保存Ⅰ 第686号 甲325号)
第287回(57. 5. 10)合格 第288回(57. 6. 7)授与
上田 祥士(保存Ⅲ 第687号 甲326号)
二木 昇瑞(薬理 第688号 甲327号)
小島 慎也(保存Ⅰ 第689号 甲328号)
澤村 暢之(微生物 第690号 甲329号)
佐々木良紀(衛生 第691号 甲330号)
櫻井絵理子(保存Ⅰ 第692号 甲331号)

★退職の御挨拶(秋山誠一郎教授)



昭和57年3月末日を以て、長い間お世話になっておりました東京歯科大学を退職させて頂きました。昭和27年10月から予科の非常勤講師として、同30年4

月からは新しく設置された進学課程の助教授として、また同36年4月から教授として、29年6カ月にも及ぶ期間を勤めさせて頂いた次第であります。これも偏に皆様方の御厚情、御鞭撻の賜と篤く御礼申し上げます。

90余年の歴史のある学校に、私の人生の大事な時期を過ごすことが出来ましたことは、甚だ意義の深いことでした。創立記念日と私の誕生日とが同じ日であることも亦奇しき縁であります。

稲毛に移られて間もなく一年、そこで、新しい草袋に新しい酒が醸され始めました。入学して直ぐに専門科目も学ぶことになり、今の進2が最後の進学課程の学生となります。新しい酒の出来具

合を楽しみに致しております。

振り返って、唯長く勤めたというだけで何等為す処のなかったことを思いますとき、内心忸怩たるものがあります。にも拘らず、大学からは名誉教授の称号を授与され、また歯科衛生士専門学校からは名誉講師の称号を贈られ、私の分に過ぎた事と、恐縮致すのみであります。誠に有難う御座居ました。

最後に、東京歯科大学の一層の御発展を祈り上げます。

(尚、私は4月1日付で茨城大学教授に採用され、教育学部に勤務致しております。今後は、私の郷里で、いささかなりとも御役に立ちたいと存じております。)

秋山誠一郎

履 歴 書

秋 山 誠一郎

生年月日 大11. 2. 12

本 籍 茨城県

現 住 所 東京都世田谷区千歳台2-19-8

- 略 歴 昭 15. 3 茨城県立太田中学校卒業
15. 4 慶応大学予科文学部入学
19. 9 慶応大学予科文学部修了
20. 10 慶応大学文学部哲学科(心理学専攻)に復員により復学
23. 3 慶応大学文学部哲学科(心理学専攻)卒業
23. 4~30. 3 慶応大学医学部神経科教室助手
27. 10~30. 3 東歯大予科非常勤講師
30. 4~36. 3 東歯大助教授
35. 12 医学博士の学位記受領(慶応大学)
35. 4 東歯大歯科衛生士学校非常勤講師
36. 4 東歯大教授

母校だより

- 36.9~53.3 慶応大学体育研究所非常勤講師
 37.7~39.3 法務省中央矯正研修所非常勤講師
 54.4 明星大学大学院人文学研究科非常勤講師
 54.4 明星大学人文学部心理・教育学科非常勤講師

研究業績 論文発表 15, 口頭発表 11

★昭和57年度進学生オリエンテーション

昭和57年4月より専門課程へ進学した進学生(150名)に対するオリエンテーションが4月2日(金)第4教室で午前9時30分より行われた。

まず、松宮誠一学長、高木圭二郎副学長、金竹哲也学監・大学院研究科長、高橋庄二郎千葉病院長、見明 清教務部長、中久喜 喬学生部長、堤璋二学年主任の各教授の挨拶のあと学務関係、事務関係および学生会関係のオリエンテーションが行われた。

★昭和57年度大学院歯学研究科入学式

2月15日(月)の学説・面接試験、16日(火)の身体検査の結果入学が内定していた27名に対する昭和57年度の法学大学院歯学研究科入学式が4月20日(火)千葉校舎第2・3セミナー室において挙行された。式は、大学院研究科の教務・学生部長町田幸雄教授の司会・開式の辞にはじまり、松宮誠一学長の入学許可書授与および告辞、ついで金竹哲也研究科長の挨拶が行われた。これに対し、学生代表の高野直久君が力強く宣誓を行い、閉式した。

入学式につづいてオリエンテーションが行われ、さらに、学外オリエンテーションとして5月13日(木)から15日(土)までの2泊3日の日程で本学厚生施設である蓼科寮で行われた。

入学者は次の通りである。

昭和57年度 大学院歯学研究科入学者名簿
 高田 克重 病理(1) 下津浦末博 薬 理
 中山 行雄 歯科理工 山本 秀樹 口腔衛生

青木 宏道 保存(1)	加藤 広之 保存(1)
長野 恭輔 保存(II)	角田 満 保存(III)
高森 幸生 保存(III)	富士田 隆 保存(III)
久保 周平 小児歯科	黄 麗俐 小児歯科
難波 哲夫 小児歯科	高野 正行 口外(1)
正木 日立 口外(1)	高野 直久 口外(II)
金山 昇 補綴(1)	中沢 章 補綴(II)
野嶋 昌彦 補綴(II)	辻 吉純 補綴(III)
富山 雅史 補綴(III)	宮下英一郎 補綴(III)
山倉 大紀 補綴(III)	小太刀健二 矯正
坂本 輝雄 矯正	宮吉 誠 <small>オーラルメ ディシン</small>
吉沢 忠夫 <small>オーラルメ ディシン</small>	

★昭和57年度教員新任式

昭和57年度新規採用の教員17名に対する新任式が5月11日(火)午前10時より千葉校舎第8・9セミナー室において挙行された。このうち、本学新卒者で助手採用となった者は10名で、氏名はつぎの通りである。

山根 秀樹 病理(II)	矢崎 欽也 薬 理
杉山 節子 保存(III)	鹿郷 峰敏 補綴(1)
飯田 惣一 補綴(1)	斎藤 守 補綴(1)
木村 敏之 補綴(III)	栃木 茂生 補綴(III)
小山 亨 歯科麻酔	井川 淑子 歯科麻酔

★昭和57年度特別研究生入学式

昭和57年度特別研究生入学内定者32名に対する入学式が5月11日午前11時より千葉校舎第8・9セミナー室で挙行された。入学者はつぎの通りである。

林 栄壽 解剖	横矢 重光 保存(1)
渡辺 英弥 保存(1)	飯田 早苗 保存(II)
大島みどり 保存(II)	佐々木昭弘 保存(II)
中村 寧子 保存(II)	黒沢 秀一 保存(III)
山口 徹也 保存(III)	寺内 洋一 保存(III)
山梨清三郎 保存(III)	大野 裕子 小児歯科
岩田 和久 口外(1)	三宅 晋 口外(II)
市ノ川義美 口外(II)	金子紗由美 口外(II)
田中 潤一 口外(II)	武藤 彰 補綴(II)
久野 昌士 補綴(II)	菅 泰晴 補綴(II)
岡崎 正史 補綴(II)	大関なおみ 矯正

母校だより

福島 太平	オーラルメ ディシン	赤塚のぞみ	オーラルメ ディシン
小川 隆	オーラルメ ディシン	山口 雅弘	オーラルメ ディシン
森本 光明	オーラルメ ディシン	平野 則之	水道橋病院
西山 潔	水道橋病院	島田 清純	水道橋病院
江田 保広	水道橋病院	西村エリ子	水道橋病院

★歯科総合診療室開始について

水道橋病院長

長谷川 正 康

東京歯科大学水道橋病院は、従来の診療方式を改め、病院全体を歯科総合診療にすべく計画を進めていたが、諸般の情勢から、とりあえず、新館6階を改装、整備して、ここを歯科総合診療室とした。ここで教員による1口腔単位の診療(GP)を昭和57年4月19日(月)から開始した。

診療に従事する教員(医員)は5月現在4名で、その指導には病院長、副院長はじめ各専門分野の4名の教授が当たっている。なお、6月からは歯科総合診療室勤務を希望した特別研究生5名が臨床基礎教育を終えて入局、本診療室担当の病院長以下9名編成となる。

開所の4月(19~30日)患者数は新患32名、再来140名、計173名で、1日平均患者数は7名。

5月(27日現在)患者数539名、1日平均26名である。今後、新人入局により、さらに多くの患者を、より良き歯科医療の提供ができるよう努力するとともに、本来の臨床のための臨床教育、臨床研究をも進めて行きたいと思っている。

★「ヒポクラテスの木」

本学キャンパスに植樹される

わが国の大学や研究施設には、医学の祖ヒポクラテスを偲んで「ヒポクラテスの木」といわれる木があります(和名は「鈴懸の木」学名は *Platanus orientalis* L.)。ヒポクラテス生誕の地であり、ヒポクラテスが医学を教授したゆかりの地ギリシャのコス島にある原木から、わが国に移植されたものです。

本学にも本年4月30日に、この「ヒポクラテスの木」が進学棟の東南側に松宮誠一学長の手によ

って植樹されました(写真)。本学に植樹された「ヒポクラテスの木」は、1955年、山形市の医師篠田秀男博士がコス島から持帰られた株から育成した若木の一つで、岩手医科大学のご厚意によって本学に分与されたものです。昨年高木佳二郎副学長、金竹哲也学監に造園計画の中でご検討いただき、10月には松宮学長から岩手医科大学の三田俊定学長(当時)へ文書をもって分与の手続きを進めておりましたが、本年4月28日、高江洲義矩教授、萩原義雄庶務課長が出向き、盛岡から陸送しました。

現在、「ヒポクラテスの木」は初々しい青葉を湛えて、新生母校の象徴の一つとして順調に成長しています。

ヒポクラテスの箴言と共に、本学の教育、研究、診療の指標となることを一同と共に祈念したいと思います。

最後に、今回のヒポクラテスの木の分与に寄せられた岩手医科大学の三田俊定理事長、小原喜重郎学長、鈴木 隆歯学部長、一戸孝七教養部長、石渡隆司教授各位のご厚志に深甚の謝意を申し述べます。
(高江洲 記)

★フロリダ大学歯学部ギャリントン教授、スタンレー教授本学を訪問、特別講演会開催

東京歯科大学の姉妹校、米国フロリダ大学歯学部の副学部長、G. E. Garrington 教授並びに病理学主任 H. Stanley 教授が、5月上旬に相次いで来日され、5月12日(水)には特別講演会を行い、5月13日(木)には本学を訪問された。

特別講演会は東京九段のホテルグランドパレスにて、松宮誠一学長の主催のもとに、田熊庄三郎教授と石川達也教授を世話係として開かれた。冒頭に松宮学長の開会挨拶があり、つづいて田熊教授による両教授の紹介が行われた。Garrington 教授が顎腫瘍の病理に関する、また Stanley 教授が歯髓の臨床病理に関する世界的権威であることは周知のことで、両教授とも、米国 NIH に在職当時からの田熊教授の友人であることも何かの機縁であろう。Stanley 教授は "The technical significance of human pulp studies", Garrington

母校だより

教授は“Sarcomas of the jaws”という演題で、同時通訳付約2時間30分にわたって講演した。その後、松宮学長より両教授に感謝のプラークが手渡され、石川教授の挨拶をもって閉会した。参加者は、北は東北大学、南は九州歯科大学の、全国各地の歯科大学より集った病理、保存、口腔外科関係者計100余名で、質疑応答も活発に行われ、きわめて盛会であった。

翌5月13日、両教授は本学千葉校舎を訪問、鹿島俊雄理事長、松宮学長と歓談の後、本学主催の昼食会に出席し、時を同じくしてやはりフロリダ大学より本学に滞在中の P. J. Heins 教授や本学教授らと交歓した。午後は学内を見学、新しい設備等についてはもちろん、90余年に及ぶ本学の歴史と貴重な業績にいたく感心の様子であった。

その後両教授は新緑の日本を楽しんだあと、5月19日(水)、5月21日(金)に相次いで帰国の途についた。(柳澤 記)

★海外往来

◦William B. Clark
(Assistant Prof. of Basic Dental Science and Immunology/Medical Microbiology フロリダ大学)

4月2日より4月30日までの約1カ月間にわたり、微生物学教室に滞在され、数回のセミナーと講義をもたれた。

◦Flank J. Courts
(Assistant Prof. of Dept. of Pediatric Dentistry フロリダ大学)

4月4日から5月4日までの1カ月にわたり小児歯科学教室、口腔衛生学教室に滞在され、講義の他にオープンセミナーなどを担当された。

◦浅井康宏教授
浅井教授(保存学Ⅰ)は、南カリフォルニア大学歯学部における研修と講演のため、米国へ向け4月26日から5月9日まで2週間にわたって出張された。

◦羽賀通夫教授
羽賀教授(補綴学Ⅱ)は、米国カリフォルニア歯科医学春季学会に参加のため、4月29日から5

月9日までの間出張された。

◦Harold R. Stanley
(Professor and Chairman, Dept. of Oral Medicine フロリダ大学)

George E. Garrington
(Assistant Dean フロリダ大学)

両氏は、病理学第1講座、保存学第3講座のお世話で、5月12日オープンセミナーをもたれた(関連記事別掲)。

◦Don L. Allen
(Dean of College of Dentistry フロリダ大学)
アレン教授は5月18日来校され、学内見学をされた。

◦Marwan Abou. Ross
(Chairman, Dept. of Endodontics 南カリフォルニア大学)

5月12日来校され、講義を担当されたほか学内を見学された。

★人 事

辞 職 講 師	高橋 義一(口 衛)	57. 3. 31
	玉井 久貴(補綴Ⅰ)	57. 4. 30
助 手	高橋 秀樹(保存Ⅰ)	〃
	加藤 良一(市病外科)	57. 5. 31
	市川 栄基(〃 内科)	〃
補 職 教 授	河野 静也(学生主任)	57. 4. 1
昇 任 講師より 助教授へ	富田友美子(生化学)	57. 4. 1
	山口 秀晴(矯正)	〃
	谷田部賢一(〃)	〃
	柿澤 卓(水病口外)	〃
助手より 講師へ	井上 孝(病理Ⅱ)	〃
	松田 康男(水病 口外Ⅰ)	〃
	佐藤 裕(生化学)	〃
	橋本 正次(法歯学)	〃
	杉山 直(歯放)	〃
	野木真紀子(衛生士 学 校)	〃
採 用 講 師	櫻井 薫(補綴Ⅰ)	〃
副 手	中島 功(解剖)	〃
講 師	見明 康雄(病理Ⅰ)	〃
助 手	末吉 研二(矯正)	〃
	嵐崎 晃一(市病オー ラルメデ イシン)	〃
	岡田 孝枝(保Ⅲ)	〃
助 手 補	水島川恵子(歯放)	〃

母校だより

助 授 小島 晃(化 学)	57. 4. 1	(休 職) 助 手 遊佐 康夫(口・外Ⅰ)	57. 4. 1~ 58. 3. 31
助 手 渡辺 規江(衛生士 学校)	"	助 手 和田 大海(保存Ⅱ)	57. 5. 9~ 57. 6. 18
助 授 石井 俊文(衛生)	57. 5. 1	(復 職) 講 師 山口 雅庸(口・外Ⅰ)	57. 4. 1
助 手 山根 秀樹(病理Ⅱ)	"	学年副主任交代(57. 5 1付)	
〃 矢崎 欽也(薬 理)	"	昭和57年度専程第2学年	
助 手 杉山 節子(保存Ⅲ)	"	新 任 桜井 薫 講 師	
衛生士学 校講師		旧 任 玉井 久貴 "	
助 手 鹿郷 峰敏(補綴Ⅰ)	"	教室幹事交代(57. 4. 1付)	
〃 飯田 惣一(〃)	"	病 理 Ⅰ 新 任 東田 久子 講 師	
〃 斎藤 守(〃)	"	旧 任 沢田 隆 "	
〃 木村 敏之(〃Ⅲ)	"	病 理 Ⅱ 新 任 井上 孝 助 手	
〃 栃木 茂生(〃)	"	旧 任 酒井 康友 講 師	
〃 小山 享(歯・麻)	"	理 工 新 任 吉成 正雄 講 師	
助 手 井川 淑子(〃)	"	旧 任 小田 豊 "	
水道橋病院派遣教員交代		口 腔 衛 生 新 任 真木 吉信 助 手	
小児歯科 講 師 細矢由美子(水道橋病 院より千 葉病院に)	57. 4. 1	旧 任 松久保 隆 助教授	
助 手 小杉 和子(〃)	"	医局長交代(57. 4. 1付)	
助 授 後藤 讓治(千葉病院 より水道 橋病院に)	"	水道橋病院 補 新 任 根岸 康雄 講 師	
講 師 須田 希(〃)	"	旧 任 高梨 公男 "	
保 存 Ⅲ 助 手 亀井 正典(水道橋病 院より千 葉病院に)	"	水道橋病院 矯 新 任 永田 賢司 助 手	
〃 水谷 裕(千葉病院 より水道 橋病院に)	"	旧 任 原崎 守弘 講 師	
補 綴 Ⅲ 講 師 高梨 公男(水道橋病 院より千 葉病院に)	"	水道橋病院 小 児 歯 科 新 任 須田 希 講 師	
助 手 堀田 宏巳(千葉病院 より水道 橋病院に)	"	旧 任 細矢由美子 "	
補 綴 Ⅰ 助 手 吉田 正(千葉病院 より水道 橋病院に)	"	水道橋病院 歯 科 総 合 診 療 新 任 青木 篤敬 助 手	
		千 葉 病 院 小 児 歯 科 新 任 田中丸治宣 講 師	
		旧 任 須田 希	
		(57. 5. 1付)	
		水道橋病院 保 存 新 任 水谷 裕 助 手	
		旧 任 宇井 洋夫 講 師	

(大学広報第82号より)

トピックス



大正八年卒業です

名誉町民 赤堀 康興

大正5年3月に上京し、美作出身者の寮に入寮した。本郷の森川町にあって、東大の正門に近かった。上京してから、寮の食堂で哲学者（故人）出隆さんに試験の日を尋ねられたことがある。4月1日ですと答えたが、後で考えてみると、少しも勉強しないから、戒められたのかと気がついた。

受験、合格、入学した。当時全国の歯科医師数は2,500人。希望にあふれて入学したものだ。

校長は血脇先生、教頭が奥村先生、解剖が井上先生、生理が永井潛博士、病理が今博士、修身が得能文博士、日本の一流学者ばかり。生徒の方もこれに負けない顔ぶれだったと思うが、どうかしら。大正8年10月に卒業し、12月に歯科医籍に登録した。番号は4505号。浅草の池野谷歯科医院に勤務。大正9年8月郷里で開業した。勝田郡内では唯一人の歯科医であった。

大正12年の震災、第二次世界大戦の爆撃にあわなかったのが、今日生きている原因だ。

昭和47年に、勲五等双光旭日章の叙勲を受けたのは、大正11年から昭和38年まで勤務した勝間田農林高等学校の推薦によるものだ。これは野人にとって意外だった。足が悪くて受章式にも、同窓会の祝賀式にも出席できなかったのは残念であった。勲記には、国璽と総理大臣の名が入れている。大臣は佐藤栄作。この栄作は叔母池上芳子の養子池上作三の甥なのも奇縁であった。

昭和48年には、多年保健、教育の振興に努力し

たことを理由に、勝央町名誉町民に推戴された。

教育の振興にどんな努力をしたか。

書くことの好きな私は、戦後綴方の時間が、時間割から消えたことを残念に思っ、小学校に作文賞を贈った。翌年には、中学校に体育賞、高等学校には科学賞を贈った。現在この賞の基金は、小、中学校が400万円、高等学校が100万円になっている。勝央町では、条令を作り、赤堀教育振興基金を作って下さった。このことで昨年には紺綬褒章を受章した。

中学校では、体育賞を受けた生徒が百名を越えているのは嬉しい。この三賞の創設は、小、中、高と三校の歯科校医をしていたから、生徒の歯牙の発育と身体の発育との関連を調査することができた。この結果各校の教育のポイントを私なりに発見し、それに答えたつもりである。

私の顕彰会を作り、胸像をたてて差上たいという申出もあったが、それを断り、形なき胸像、この赤堀教育振興基金をふやすことを念願としている。

年すでに85歳、耳も脚も役にたたなくなったから、この7月末で診療をうち切った。

昨年3月に妻を失い、長男は内科医で東京練馬で開業している。歯科の後継者はない。

淋しさをのり超えるために、只今本の出版に熱中しています。

同窓の御健闘を祈ってやまない。

昭和57年10月5日

支部のうごき

埼玉県支部

埼玉県支部同窓会は、去る5月27日(木)、午後4時30分から、大宮予防歯科センターホールにおいて、昭和56年度定時総会を開催しました。

当日、総会にさきだって、午前9時から、鴻巣カントリークラブにおいて、特別参加していただきました瀬端教授とごいっしょに、多数の会員が参加して、親睦ゴルフコンペが行われました。微風、快晴の素晴らしい五月晴れに恵まれ、好スコアが続出し、楽しい一時を過しました。

総会には、本部から副会長、安嶋宣忠先生、大学からは瀬端正之教授がご出席下され、ご挨拶をいただきました。

ついで、議長に鈴木国夫先生を選出し、議事に入りました。議事は、すべて現案通り可決、決定され、つづいて役員改選が行われ、次の新役員が決定しました。

支部長	海野 陽 (S. 20年卒)
副支部長	中島 巖 (S. 30年卒)
	金子雅英 (S. 29年卒)
	江川郁夫 (S. 22年卒)
	嶋田幸一 (S. 30年卒)

前支部長、加島忠道先生には、長い間ご苦勞さまでした。心からお礼申し上げます。

総会終了後、場所を大宮市民会館内、レストラン山水に移して懇親会が行われました。

ゴルフコンペでの表彰後、本職の落語家師匠の司会によって、なごやかな、楽しいうちに一夜も更け、一同散会しました。

山田辰三先生
齊藤光生先生
の受章を祝う会

春の叙勲、褒章において、山田辰三先生には勲五等瑞宝章を、また齊藤光生先生には藍綬褒章をそれぞれ受章なさいました。

両先生の受章を祝う会が、埼玉県同窓会主催のもとに、去る9月4日(土)、大宮市サンパレスにおいて、開催されました。当日は多数の同窓会員に加えて、参議院議員、県歯会長、関口恵造先生にも、お忙がしいなかをご出席をいただき、ご祝辞をたまわりました。

両先生、まことにめでとようございました。ご健勝で、ますますご活躍されますよう、祈っております。(氏家 記)

横浜北部支部

秋晴れの去る9月26日(日)、東京歯科大学同窓会横浜北部支部の会員、家族および従業員の親睦栗拾い大会が横浜市緑区内の栗林で開催されました。

150名の出席のもと、三島支部長の挨拶で始り花井副支部長の司会で来賓の諸先生方の紹介、本学より田熊教授、見明教授、同窓会本部より伊丹副会長、藤田神奈川県民生部保険課技官、同国保課上村医官、久し振りでお逢いする関山先生。又

県下各支部長昭和大歯学部から東教授、若月教授も見えられ賑やかな顔ぶれの中に午前11時野外パーティが開宴されました。

本年は台風10号、18号の影響で栗林がいたみつけられ栗の収穫は少なかつたわけですが、設営された模擬店では会員の先生方の前掛姿も回を重ねるに従い板につき、ピンセット持つ手にウチワをもち焼そば、焼とり、焼もろこしと大奮闘、奥様方はおでんの煮込み盛つけと大忙し、生ビール、

ワイン、お酒をくみ交すうちに用意された10キロの餅米がたきあがり皆様の力を借りての餅つき、慣れない手つきで杵を振り上げ悪戦苦闘、できあがったばかりの餅を食べながら一息入れたところで今度はさつま芋掘り、餌に集るピラニアの如くたちまちのうちに広い芋畑も丸はだか（写真で披露できないのが残念です）。参加されたお子様に

は“お楽しみ袋”が配られ大よろこび広い庭を走り廻っておりました。

楽しい時間が経つのは早いもので午後3時を過ぎると飲物、食物も底をつき、最後に見明教授の音頭で母校東京歯科大学、東京歯科大学同窓会の今後益々の発展を祈念しての万歳三唱で閉会になりました。（土橋 記）



クラス会だより

新 窓 会

(大正12年卒)

故 角田幸助君を追悼す

(昭和56年12月13日死亡 行年86歳)



大正8年に、当時の東京歯科医学専門学校に入学をした私共の同級生中で、角田幸助君が最年長の故を以て私共の級総代に選ばれた。何分当時の学生は悪童ばかりで、学校当局もその統制には往生をしていた

が、流石に総代の角田君は、年長のせいもあって、どうにか級をまとめ、その手腕に期するところがあって、卒業の4年後まで、どうにか級総代をまとめ続け、その功績は立派であった。

角田君は、東北特有の頑健な体格の持主でもあったので、角撲部の選手などもつとめたが、私が部長をしていた短艇部の選手でもあった。漕手中の三層漕主として中心をなした。墨田川の向島に艇庫があったので、当時は随分と向島通いをした。

大正12年に卒業した私共の多くは、卒業と同時に自己開業する者が多かったが、角田君は帰国と同時に郷里の仙台市の通信病院の歯科部長に就任し、戦時中一時応召のため中断したことはあった

が、終戦後もまた同病院に復員し、停年に至る50有余年を公務員歯科技師と終始したことは、まことに偉とすべきである。正七位勲四等の叙勲の如きは当然の功績である。

昭和56年の12月に母校の千葉校舎落成式に私が卒業生代表として出席すべきであったが、私が健康上の支障で、角田幸助君が、その代理として仙台よりはるばる千葉の祝典に出席をしたが、このことは後で判明したことであるが、当時角田幸助君は、肺から咽頭に亘り広域の癌病に犯されて、千葉旅行が無理となり、帰宅後病状とみに悪化して、遂にその一生を閉じた。まことに残念なことであるが、私共同級生としては、千葉の新校舎を見ることの出来た最初の人であった。そのことは彼角田幸助君もさぞ満足であったと思う。大正12年卒業の新窓会員も、いよいよ淋しく特に角田君の死は私にがくと来た。角田君よ、どうか安らかにお眠り下さい。私も九州の一角に今に健在である。以て新窓会員最後の一人たることを自ら任じている。

昨日作の私の句に云く

栗弾くわれ百歳に後幾つ 小石

(小田喜右衛門 記)

昭 伍 会

昭和9年卒

昭和9年卒業昭伍会の総会

昭和57年度昭伍会の総会並びに親睦会は9月8日から3泊4日の旅程で北海道で行われた。第1日9月8日13時15分釧路空港着総勢29名ただただ再会を喜び会う。直ちに阿寒湖に向う丹頂の里を見物しながら阿寒湖畔に到着。マリモを見学して

午後6時から総会、渋谷会長の挨拶、会務報告、そして物故会員の霊に心から黙禱を捧げ冥福を祈った後第1日目の楽しい夕食会を迎えた。

第2日目阿寒横断道路を経て霧の摩周湖に到着。特産のジャガイモのパター焼を頂きながらその美しさに見とれる硫黄山、川湯温泉そして漁港

クラス会だより

斜里を経て日本最東北端、知床に向う。4時半知床ウトロホテルに到着2日目の懇親会は6時半から飲んで唄って楽しい一夜でした。

第3日目知床横断道路を経て羅臼港に着く、途中根室標津の薫別川にのぼってくる秋サケの孵化場を見学、中標津空港からプロペラ機で札幌に午後6時到着、札幌ホテルでは最後の本当の北海道の味を吟味して食繕ヘニン、ホタテの貝焼き等で明年度の総会迄北海道を忘れない様に最後の一夜を楽しく過した。第4日目札幌の名所サッポロビールで昼食、午後二時千歳空港に向い散会した。

出席者 及川、藤林、薨、荒井、武藤、亀山（3名）、石田、渋谷、以上同伴組、山口、田能村、服部、薬師寺、堀内、村尾、安保、岡本、大津、田村、宇美、増田、岡野（服部 記）

この度の総会において服部、岡野両君には多大なお世話を頂き厚く御礼申し上げます。なお58年度総会は卒業以来の50周年を58年5月19日、20日、21日2泊3日間の予定で東京中心に盛大に開催の予定、いずれ詳細を御報告致します。（渋谷 記）



鹿 鳴 会

（昭和10年卒）

古希を超えた人、または直前の人など、この年齢になると年ごとにクラスメートがなつかしくなってくる。

10月19日午後1時、名古屋駅新幹線コンコース壁画前にご夫婦づれ18組、娘と孫づれ1組、単身参加11人、合計49名の老人クラブ然とした面々が集まった。

しかしどの顔を見ても元気で手を握り合い大声で話し合い、とても老人クラブの集りとは見えない愉快的フルムーンのグループである。これから始まる1年ぶりの2泊3日の旅に、みんな若者のように期待に頬を紅潮させている。

2台のデラックスバスに分乗して先ず徳川美術

館で国宝級の美術品を觀賞し一段と教養を高めた後に夕刻下呂温泉水明館に到着。

町の費用で芸者にかつらを支給する温泉だけに、その夜の宴会は昼間の教養もどこへやら、学生時代にかえて大さわぎであった。

翌日は小京都と呼ばれる飛弾の高山へ、春慶会館、民芸館、合掌造りを集めた民俗村などをみたり、また古い良き時代の面影を残す町なかを散策してお土産を買うなど、夕方バスで更に山深い穂高温泉へ。途中の平湯温泉のあたりからは見ごとな紅葉が目を楽しませてくれた。

泊った新穂高温泉は文字通りの奥飛弾で夜は星空をみながら霧たちこめる川のほとりの野天風呂

クラス会だより

で山の気分を満喫した。

3日目の朝は素晴らしい天気となり、更に奥の方にそびえる穂高、槍、笠ヶ岳などの連山が、薄らと雪化粧をして、我々の前に姿をみせてくれた。山はやはり芸者などよりは、はるかに美しい。

帰りは再び高山に立ちより、いろいろ料理でお別れの昼食、そして犬山に出て信長の弟、有楽斎愛用の茶室「如庵」で礼法通りにお茶とお菓子を静かに頂き旅の終りとした。

その日（11月21日）の夕刻、名古屋駅で来年の

再会を約して解散。幹事役の高木重雄君、ご苦労さまでした。

参加者、ご夫婦組、広田、岡本、高橋(正)、前田、大沢、浅野、徳永、小野、望月、藤田、高木(重)、朝浪、赤塚、田中(正)、市之川、木村、向笠、北、吉本。単身者 森田、武藤、河村、松崎(剛)、阿保、佐々、越智、戸田、伊丹、森、山田の諸君。みんな水道橋時代にかえって楽しかったね。

なお、明年は東北新幹線を利用する「みちのく」路の予定です。(伊丹 記)



七 星 会

(昭和11年卒)

昭和57年10月22日～24日紅葉の季節には少し早かった様ですが、快晴に恵まれ、クラス懇親会が能登で出来た事を喜んでいます。遠くは北海道、九州からも元気な姿で参加して、和やかに年一回の旧交を暖め合うことが出来ました。

会員の集合場所を、アンケートにより、名古屋（31名）金沢（28名）の2ヶ所として、名古屋組は午前10時名駅出発、名古屋観光バス（グランドサロン）2台に分乗、先ず、木曾川中州のエーザイ川島工場にある、内藤記念くすり博物館を見



学、映画と、葉に関する豊富な資料にみせられ、一路、一宮インターから名神、北陸道を経て、当夜の宿、金沢ニューグランドホテルに。金沢集合の会員と落ち合い、夜は料亭“つば甚”で夕食。本年度物故会員、中條正道君と、春山正雄君に対し黙禱を捧げ、芸どころ金沢芸者の酌で懇親会を開く。

翌23日は、ホテル出発後、千里浜渚ドライブ、敵門、総持寺、輪島の漆器を見て、和倉温泉加賀屋へ。北陸を代表する加賀屋渚亭のラウンジから眺めた、波静かな七尾湾の風景は、今もなお、脳裏を離れない。

翌3日目は、再び金沢に戻り、安江金箔工芸館

と、加賀百万石の名園、兼六園を觀賞後加賀石亭で昼食のしゃぶしゃぶをいただき、来年の十和田での再会を約し、金沢組と別れ名古屋駅へ。

参加者名

梶尾茂、大橋正三、小林吉三郎、栗原正三、磯誠三、榎本越、水上正二、阿部鋭夫、矢嶋和重、加藤木親郎、浅野武男、長尾達春、穂積敏夫、清水峯雪、藤城易都、岩崎之、齊藤潔、吉川俊一、前田秀夫、川越久雄、朝倉重美、小徳静夫、伊藤保、唐木元一、川村泰造（以上同伴組）。尾形新、小川洋、池田正、大沢一康、大藤幸雄、岡田太一、鍋木正直、沢熊保吉（以上単身組）。

（穂積 記）

燦 志 会

（昭和16年3月卒）

本年の北海道でのクラス会旅行は道東をゆっくりと観光したいということで、地元帯広の大内幹事にお世話願いました。

9月19日 阿寒岳の麓に静まりかえるオンネットの湖、阿寒湖のマリモ、弟子屈のヨーロッパ民芸館、霧の摩周湖、川湯湯泉

9月20日 硫黄山、砂湯、美幌峠、天都山（流水展示館）、網走、原生花園、ウトロ

9月21日 ウトロ（遊覧船）、知床峠、羅臼、忠

類川の鮭の遡上、根室、ノサップ岬、釧路

9月22日 朝市見学、釧路湿原、丹頂鶴、釧路空港解散

連日好天に恵まれた今回の旅のハイライトは、忠類川の鮭の遡上をまのあたりに見ることが出来たことですが、河口から海岸線一帯の鮭の大群で、海の色を変えている雄大な大自然の壮観さは、今回の旅で最も強く印象に残るものでした。

北海道はいつ訪れてみても、内地と違って大陸



クラス会だより

的風景にみちみちていて、私共に良い旅の思い出を残してくれました。

第1日目、川湯温泉で本年度クラス会総会を開き

1. 会計報告の承認。
2. 来年度クラス会開催地を信州と決定。
3. 次期クラス会長に安藤正君を指名。

以上で総会を終了しました。

今回の旅では、地元大内ご夫妻に多大なご配慮を頂きましたし、長い間会長としてお世話下さった松本前会長にも厚くお礼を申し上げます。また来年度開催予定の地元の宮下、長瀬両幹事さんに

は宜敷しくお願いを申し上げ、本年度のクラス会報告とします。

出席者(同伴)、宮下堯人、大久保忠則、高宮昌美、水口栄、渡辺豊、岩崎貞彦、大滝入海、栗田哲次、中西伯男、天野博徳、矢島敏夫、猪子寿一、柴田光雄、浜松繁、松本宣洞、脇田進、江副哲郎、大久保義勝、鈴木省三、井上良和、大内憲一、安藤正

(単身)、酒井辨二郎、井田実、田部井三雄、高嶺長二、佐藤心一、河内次男、名波佐智夫、野村益朗、長瀬宰治、平岡光一 (安藤 記)

堅 久 会

(昭和16年12月卒)

10月14日に鹿児島空港に集合した。今年は珍らしく参加者が少なく貸切バス一台で出発した。

秋晴れに恵まれ磯公園(記念写真)、城山公園、池田湖の大うなぎ、長崎鼻を見学し指宿温泉へ。翌日は煙噴く桜島(記念写真)から霧島神宮で昼食し、えびの高原の咲きほこるコスモスを見て宮崎に泊る。青島神社を参拝し狂い咲きの桜の花を車中から見て、サボテン公園で太平洋を眺めて昼食し、楽しい3日間の旅もおわり宮崎空港に着く、大阪、羽田、名古屋行きに別れ、お互いの健康と来年の再会を約して別れを告げた。世話人の山崎吉男君にお礼申し上げます。参加者は、

同伴：若林忠雄、伊藤嵩、八田申六、金山政一郎、大野季彦、清水由夫、前原誠次郎、早川企三男、山崎吉男、

単身：小川至郎、松浦誠一、小出修、石光範、滝龍人、高野文夫、木村哲男、田口芳治、高橋勝哉、

来年の旅行は小川至郎君の世話で、10月9日～11日に山陰の玉造温泉と皆生温泉の2泊3日で開催しますので奮ってご参加下さい。

皆様の御健康をお祈り申し上げます。

(高橋 記)



一 志 会

(昭和17年9月卒)

卒業40周年記念式典・祝宴

昭和57年9月25日。土曜日。於帝国ホテル。

われわれ一志会会員が東京歯科医専を卒業してから40年が巡って来た。前日の千葉における懇親ゴルフは参加者11名、井上朋弥君の優勝。午後4時会場に校歌が流れ、来賓、会員が続いて入場着席。岩淵幹事の司会で式典開始。渡辺(兼)幹事の開会の辞の後、長谷川式典実行委員長の経過報告を兼ねた挨拶がある。続いて野口幹事長の挨拶は激動の世を過して来た我々一志会会員の人生を振り返り、一堂に会し得た喜びの言葉であった。

ここで、物故会員59名、内戦死、戦病死26名。厳粛な黙禱を捧げ、御霊安かれと祈る。

鹿島理事長、高木副学長、伊丹同窓会副会長の

心温まるご祝辞をいただく。松宮学長からの祝電の披露と式は進行する。続いて母校への記念品の贈呈は関幸一君、藤原康功制作の絵画の寄贈である。幹事長からの目録を受取られた鹿島理事長は「千葉校舎にかぎり永く記念として残したい」と挨拶された。歴代幹事長に記念品贈呈。代表の渡



クラス会だより

辺富士夫君の謝辞は来賓六先生に対する想い出話となり、満場爆笑。児玉記念誌編集委員長の挨拶、飯島幹事の閉会の辞で式典は滞りなく終了。

記念撮影の後、祝宴会場に入る。

祝宴の第一声は司会の井上汎幹事。神田実行委員の開宴のことばに続いて恩師松井先生、近藤先生の懐かしいご挨拶があり、池田清君の音頭で会員の健康を祝して乾杯。金用瑠君の挨拶、医学書房の大場氏の紹介を終わっていよいよアトラクション・タイムとなる。

予定の2時間はあっという間に過ぎた。同期の

桜に続いて、蒲生君の提唱で戦死した級友の為に全員で「海ゆかば」を合唱。小原君の指揮で校歌斉唱、三村実行委員の音頭で万歳三唱、坂実行委員の閉宴のことばと続き宴は終了した。

—。—。—。—。—。—

想えば1年有半の短期間に企画したこの式典が、来賓の六先生を始め会員58名、同伴12名のご参加を得て盛会の裡に終わることが出来ましたことは、会員諸兄のご協力の賜物と役員、実行委員一同誠に有難く、厚く御礼申し上げる次第であります。
(野口・岩淵 記)

十 六 会

(昭和19年9月卒)

昭和57年度総会は3泊4日の日程で北海道、道東地方にて開催されました。7月22日(木)、参加者44名は空路、陸路と夫々札幌グランドホテルに集合、昼食後可愛いバスガイドの案内の下、一同バスに乗り旭川、上川を経て景勝の層雲峡に到着、ホテル大雪に宿泊恒例により総会を開いた後、夕食を家族の皆様と共に楽しい一夜を過ごしました。23日朝、層雲峡を觀賞、車中より風景を眺めながら大函小函、石北峠を経て網走に到着、有名な刑務所前にて夫々お好みの写真を撮る。昼食後原生花園に赴きハマナスの花を眺め、知床五湖を散策して旅の楽しさを満喫してウトロに到着、知床グランドホテルにて眠に就く。24日早朝出発、知床峠を経て羅臼、伊奈仁、斜里、小清水、美幌峠、硫黄山、摩周湖、弟子屈、阿寒湖へと北海道ならではの拡大なる原野、青々としたオ

ホーツクの海、そして山溪を眺望し、車中ではガイドさんのアイヌの悲話や歌に耳を傾けて最終の宿泊地阿寒湖荘に到着。夕刻にはサヨナラ夕食会を盛況の中にも楽しく愉快に過ごしました。25日朝、いよいよ別の日が来た。一同元気にバスに乗車して足寄を通り池田ワイン城に到着、十勝平野を眺めながらワインに舌鼓み昼食を摂る。池田より列車に乗り旅の話等しながら千歳空港に到着。北海道の諸兄と別れを惜しみながら空路夫々我が家へと帰路に着きました。やや天候には恵まれませんでしたが、沢田、水野、神保3君始め北海道の諸兄に大変お世話様になり、お蔭様で楽しい旅行が出来ました事を心から感謝いたします。有難うございました。参加者は次の通りでした。

同伴組 菊池皓一、大村春夫、塩谷巖、後藤隼史、飯田精一、水野敏郎、大野祐之、福本忍、泉



川勇, 横山則穂, 澤田清孚, 木村伯夫, 堀江仲美, 小沼孟, [神保正, 勝田清和(子息2人を含む)]

单身組 高瀬保光, 城所進, 小川武正, 鹿野悦生, 工藤勤, 成田始, 佐藤曄, 北川逸三, 西条征

二, 山崎智, 以上全員44名。

なお来年より幹事が交代いたします。福本忍, 増田実, 小沢登の3君ですどうぞよろしく。又来年の総会開催地は北九州地方と決りました。

(横山 記)

51 期 会

(昭和20年9月卒)

A) 昭和58年度51期会総会開催の予告

前号で通知した通り来年の総会は新潟県地区ブロック代表長岡の田村君, 五十嵐(辰)君, 三条の八百枝君のお世話で開催されるので計画の全行程を掲載します。

- 1) 期日: 昭和58年5月下旬の予定
- 2) 場所: 新潟駅前集合
- 3) 日次: 2泊3日の日程
- 4) 行程: 第1日=オークラホテル新潟で総会後なべ茶屋で懇親会開催。ホテル泊。第2日=ホテル前一新潟港一両津港一無名異焼窯元一根本寺一とぎの郷一真野御陵一佐渡博物館一尖閣湾巡り一相川泊。第3日=ホテル前一佐渡金山一両津市内一両津港(午後解散)。

大体以上の様な行程で開催されますが, いずれ具体的な最終決定の通知が学友諸兄宛に届くものと思います。さて新潟地区の学友関井君, 長谷川君等には何卒田村君, 五十嵐(辰)君, 八百枝君と共に積極的な協力をお願いします。又全国学友諸

兄と五十華会の奥様も多数参加されたい。特に東北地区と北陸地区並びに北関東地区と中部地区の学友には出来る限り万障繰合せて出席される様大いに盛り上げましょう。又来年還暦祝の学友26名は是非出席される様に!

B) 学友芳賀忠夫君が日歯会長表彰を受領

去る10月30日広島で開催された第3回全国歯科保健大会で歯科保健事業の推進に功績ありと認められ表彰を受けられた。芳賀君おめでとう! 心から御祝を申し上げます。昨年に続いての受領に絶大な拍手をおくりたい。益々の御活躍を。慶祝!

C) 51期会有志のハワイ旅行

数年前より計画中のハワイ行の件が桜井(正)君のお世話で有志同伴組を結成して年末に行う予定。

D) 年会費納入の通知

毎年51期会報に振込用紙を同封してありますが未納の学友は5,000円を会計担当の二日市幹事宛に至急振り込んで下さい。(鶴岡 記)

52 期 会

(昭和22年卒)

52期京都, 伊勢志摩の旅

学窓を出てはや35年, 本年は関西幹事の長安, 藤波, 佐藤三君等の御骨折を頂き, 惜しくも故人となられた学友23名の追悼法要を主眼に, 初秋の京都伊勢路を巡る級会を催した。旧友の霊を慰め, 今また更に旧交を暖め合う意義ある旅路であった。

10月9日, 京都集合の後, 延暦寺に向う。森川

宏映僧正(比叡山学園長, 佐藤君の中学同級生)の特別の御配慮により, 阿弥陀堂に於て級友23名(阿部定彦, 石川友久, 岩谷正則, 斉藤良三, 丹沢博, 西純夫, 松林広, 泉福和夫, 早乙女勉, 佐々木俊秀, 守友保, 上原徳長, 北島啓三郎, 北沢道雄, 田坂克己, 刈谷武美, 大森寛, 坂東孝, 宇田隆徳, 加地一夫, 蓮見博, 迫二六, 松田正男以上敬称略, 順不同)の法要が厳かに取り行われ, 参

クラス会だより

加者全員焼香にあずかる。出席予定であった同級生の関口恵造君は、公務の為来られず、鄭重なる電文と金一封を頂いた旨披露さる。その後、森川値正の御好意により、平常は立入禁止の書院にて法話を伺う。此の度の級会の肝要事であった行事を恙なく終え、冷氣身にしむ叡山をあとに帰洛。

第2日目、京都より松坂へ。紅葉には一步早い山あいも亦趣多く美しい。車中、不参加の諸君よりの近況報告等聞く。昼は、かの和田金にて松坂牛に舌つづみし満足。午後、伊勢外宮、内宮に参拝する。伊勢より順調に宿泊地賢島に到着。海の幸の夕食の後、カラオケ会場へ。この夜のチャンピオンは小倉君、本邦初演か否かはいざ知らず、余りの名演技にマスター感激、オールドの寄贈あり。

第3日目、ゴルフ組3名(山、伊藤、橋本)の

他全員遊覧船であご湾周航。志摩マリンランドの見学を終え浜島へ。最終予定地に到着して一同びっくり。ホテルの玄関に麗々しく掲げられた看板には、何と「歓迎、同志52期御一行様」とある。東歯がなまっても、吾々は同志には違いない訳であり、当を得て妙なる歓迎に同志一同爆笑。おさめに相しく朱盃のえび酒を廻し飲み、互に健康を祈り再会を約す。終始細かい配慮を頂いた関西幹事の諸兄に、またいつも級のまとめ役の山崎幹事長に心から感謝する次第である。

参加者=田熊、伊藤、藤波、久保田、山本、直田、山崎、三輪、佐藤、長安、内田、片田、渡辺、角倉、山夫妻、杉本夫妻、橋本夫妻、守内夫妻、二階堂(和)夫妻、田本夫妻、丸山夫妻、小倉夫妻、五味夫妻、成富夫妻、宮田夫妻、大多和夫妻、田村夫妻(以上順不同)(大多和、田村記)



いづみ会

(昭和23年卒)

第35回いづみ会豊橋総会

台風襲来を告げる昭和57年9月11日(土)、総会は豊橋で開かれようとしていました。今年は7月以来殆ど毎週台風に見舞われ、それも週末にという皮肉さ。11日早朝からのゴルフコンペ参加の遠来のすき者は、前夜からゴルフ幹事横田君の世話で蒲郡三谷温泉に宿泊し氣勢をあげていたが、案の定金曜日から降り始めた雨はそのまま降り続き、翌朝ゴルフ場に到着する頃は益々その勢も加わりました。とはいえ全身ずぶぬれになりながら落伍者もなく、まして四国の近藤君夫人は立派な成績

でホールアウト、かなりの腕前とお見受けしました。優勝は岸田君、しかも雨中グロス89は立派でした。さて総会会場は地元伊藤哲君手配のホリデーイン豊橋。ここにはお嬢様が勤務され何かとお世話になりました。北は青森、南は九州から旧友が続々集まり、総会は山田浩司議長の万場を笑わずユニークな運営で和気あいあいのうちに終了。来年度開催地と過年度会費取扱いの件は幹事一任となり直ちに懇親会、例により宴終れば雨にもめげず二次会にくり出す面々もある花の50代でした。

さて一夜明ければさあ大変。大型台風本土上陸

クラス会だより

の気配をテレビは刻々報道、又々新幹線がやられそう、状況判断よろしく観光も断念早々と帰途についた諸君も多かったが、肝のすわった10数名はせっかくチャーターした観光バスでコースを変更し、豊川稲荷に到着参拝、名物精進料理を結構な般若湯と共に舌づつみするまもなく帰路についた次第です。最後までご来賓の加藤松本歯大学長はおつき合いただき恐縮しましたが、先生はさしたる困難もなく家につくことが出来たご様子、本当に安堵いたしました。だが定刻13時32分豊橋を出た上り新幹線で帰った在京幹事一同と中久喜教授、千葉の佐藤君はその後に生涯一度の体験をした訳です。もろに台風の渦中に巻きこまれ、列車の中での待避を余儀なくされた苦難の12時間の

旅、帰宅は翌日の午前1時過ぎでした。まあこれも過ぎれば楽しい思い出となることでしょう。当日の出席者は下記の通りです(敬称略)。

横田、山田、秋山、西條、有馬、黒河、岸田、近藤、同夫人、小山、永田、近常、野村、原田、鈴木(三)、宇治、同夫人、佐藤(卓)、中村(善)、河野(良)、同夫人、源内、梶川、成田、岡村、伊藤(哲)、市川、三宅、平野、中村(正)、矢内、中久喜、中村(順)、河合(幹)。

なお掲載の写真は、翌朝早く帰られた方は入っておりませんので悪しからず。

また、その後の幹事会で、次期総会を北陸の金沢で11月26、27日開催と予定していますのでお知らせします。(野村 記)



いとし会

(昭和24年卒)

昭和57年度いとし会総会が地元、井上(純)、鈴木(和)の両先生の御世話で10月22日(金)午後5時より栃木県塩原温泉四季の里ホテル塩原ガーデンに於いて開催されました。奥様を含め39人、杉之内先生の座長で会務、会計、及び同窓会本部の報告が行われ、協議事項として来年度クラス会開催地の件が協議され、35周年記念としていとし会総会を北海道で行うことに決定致しました。来年は本年にも増して大勢の先生方の御出席をお願いする次第です、次に昭和63年7年後がいとし会の

卒後40年記念となりますので、これに準えて今年度より、毎年、クラス会費より特別積立金として10万円ずつ抛出し積立てることに決定され合計額をその時の記念品に充当することが承認されました。先生方にもクラス会費の納入に御協力下さる様お願いする次第です。

尚その他熱田先生と同窓会本部理事10年と今回地元幹事の井上、鈴木両先生に絶大なる感謝の意を表わし記念品を贈呈し労をねぎらいました。又日歯代議員として今年度より北海道の佐々木裕寿

クラス会だより

先生と東京の熱田俊之助先生の2人が出て居ります、今後の御活躍を望みます。そしてクラスメートの岩淵先生の薬剤についてのお話が非常に吾々の為になるとのお知らせがありましたので各地同窓会などで依頼しお話を聞くことをおすすめします。

尚昭和54年6月23日に東京歯科大学54期、いとし会30周年記念誌が発行されましたことは先生方も知って居られることと思いますが多少残部が幹事の所にありますので必要な方は御申し出下さいます様にして下さい。

全国の会員の動勢が仲々分りにくいのですが何かありましたら、幹事の方まで、出来るだけ早く

連絡して下さい。以上総会のお知らせです。総合終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ久し振りに出席された福島県の藤田君の乾盃で楽しい一夕を過しました。

翌23日(土)は地元の観光バスにてホテルを9時出発、日塩もみじライン、鬼怒川温泉当りの深紅のもみじを見て、深山の溪谷を觀賞、日光東照宮を参拝昼食後宇都宮を経て東京駅にて次回の再会を約して全員無事散会致しました。

今回の地元幹事のお二人に何から何まで大変お世話になりましたことを心から感謝致します。

(森 記)



五 十 鈴 会

(昭和25年卒)

恒例のクラス会も33回を迎え、鹿渡、守友両君のお世話でデラックスバスによる2泊3日の金沢、能登めぐりを楽しみました。9月23日、金沢駅前都ホテルに集合し、料亭かわ新にて再会とお互いの健康であることを喜び合って、秋の夜長を金沢の芸者さんを肴に盃を釣み交わしました。翌24日は兼六園、千里浜ドライブウェイ、能登金剛巖門をへて輪島市へ。ここで朝市ならぬ夕市で海産物と輪島塗の小品のショッピングをして旅館米久にて黒鯛の生き作りで舌づつみを打ち、呑むほどに酔うほどに余興に腹を抱えて笑い、或は感心し出席した者でないと味わうことのできないムードは満点でした。25日は鹿渡君のお世話で輪島塗の

高級品、すべて3割引で買える店でショッピングを楽しみ再びバスにて時国家を見学、能登縦貫道路を通り羽咋市をへて金沢駅前にて再会を約して解散、3日間の旅も恙なく楽しい思い出となりました。車中にて来年度の開催予定地は伊勢、志摩にほぼ決まりました。多数の参加を期待します。今回のクラス会に色々御配慮準備万端お世話下さった鹿渡君御夫妻、守友君に心から御礼申し上げます。出席者総員26名、飯田夫妻、鹿渡夫妻、佐藤(泰)夫妻、平川夫妻、三宅夫妻、小野田、菊地、杉山、村上(雅)、岡崎、関田、斉藤(季)、大友、大山、間中、久保田、気賀、山本(卓)、守友、女川、内田、

なお57年度分のクラス会費未納の諸氏は58年分と一諸に納入下さい。一年5,000円です。

富士銀行四谷支店, 864503.

(佐藤(泰)記)



千 秋 会

(昭和27年卒)

澄み渡った秋晴れの昭和57年10月23日(土), 午後4時より, 本年度総会が熱海市伊豆山美晴館で行われました。定刻の1時間前から続々とつめかけ, 新潟の永井君から梨の差し入れ等があって, 和気あいあいの中に会員42名, その内家族同伴者15組と最近では珍しい多人数の出席でした。総会では新潟の竹花君が議長となり報告事項も議案も短時間で無事終了, 役員改選は三浦幹事長が再任となり, また二年間よろしくと挨拶しました。総会終了後級友村上嘉章(円)君の2時間にわたる講演を拝聴しました。何時もながら温かな村上先生のお話は, 出席された全員の心の奥に染み込んでいったと思います。感謝の気持ち, 奉仕の精神を諄諄と諭され, 私達のこれからの人生, 診療の上に

大きな示唆を与えて下さった事と思います。その後席を移して宴会に入り, 五味君の司会で村上君をまじえ自己紹介やら, 家族の紹介やら楽しい秋の一夜をもつことができました。南は九州の岩田君, 北は北海道の丸山君の顔も見え, 30年前に戻った感がありました。宴会後は各自の部屋にそれぞれ集り, 夜の更ける迄語り明かしていました。翌日朝食後, 来年の再会を約して散会しました。今回15組の家族同伴の出席は, 村上先生の講演ということもありましたが, これからの千秋会総会の在り方に一つの方向付けを与えてくれたものと思っております。

この度の開催案内については会場等の関係から連絡がくれ申し訳ありませんでした。大塩秀雄



クラス会だより

君の積極的なご高配により美晴館を確保することができました。この頁をかりて幹事一同深く感謝いたします。

その後の連絡によりますと、昭和58年度(来年)総会開催地は北海道在住の級友が引き受けてくれました。どうか今から北海道の開会を楽しみにして下さい。なお開催日は昭和58年10月8日(土)、9日(日)、10(祝)日の三日間を予定して細部の打合せに入りました。詳細は後報で。

(今回の出席者) 佐々木秀二、宮尾直文夫妻、佐藤公夫妻、伊藤浩夫妻、佐藤実、松前久子、矢島

幸子、梶ヶ谷守兄夫妻、渡辺一雄夫妻、大塩秀雄、竹花和朗夫妻、南保順子、杉田二三男、石川欣弥、青柳文男夫妻、高橋泰雄、柳川昭夫妻、佐藤正一夫妻、山口隆芳、永井淳夫夫妻、生田博康、岩田卓延、中島善和、庭田悟士夫妻、大越好一、大根英次、北村和夫夫妻、鷲頭直明夫妻、真砂生佑、岡本孝夫妻、後藤清、山本宏、和田但麿、丸山良平、吉田忠男、大角陽一、古賀雄二、牧野久子、村上嘉章、五味芳保夫妻娘、三浦美儀、梅田昭夫、(順不同、敬称略)

(渡辺・梅田 記)

六 喜 会

(昭和33年卒)

◇中島一臣君の急逝を悼む

級友中島一臣君が本年9月29日、全く突然に逝去された報に接し我が耳を疑った。本年5月彼の故郷鹿児島を彼とご夫人とのお世話でBクラス会の旅をしたがこれが今世の最後になろうと誰が想像したであろう。ご令息には昨年日出たく母校に入学されてこれからというのに残念なことであろう。

級友として慰めの言葉も無い。ただただご冥福をお祈りするだけである。

◇昭和57年度総会報告

台風21号が銚子沖を通過する天気予報に心配されたが大きな影響を受けることもなく60余名の参加を得て広大な新千葉キャンパスで開催すること

ができた。

三々五々厚生棟食堂に集合、昼食をとりながら談笑、浅井君の案内で学内を見学、元副主任、中久喜教授の“救急蘇生”に関する記念講演、引続き現地幹事坂登君の座長で総会に入った。

総会協議に先立ち、中島一臣君の冥福を祈って黙禱を捧げた。

浅井君から大学近況報告、服部君から評議員会報告、宮原より会計、庶務報告がありそれぞれ承認された。

次年度総会開催地について北海道、東北等候補があったが幹事一任となった。

これより千葉グランドホテルに会場を移し、市川時代の恩師、嶺脇四郎、山本又雄両先生、中久



クラス会だより

喜教授の三先生をお迎えし、記念撮影の後、坂登君の司会で賑やかな懇親会となった。

二次会に40名もの参加で深夜まで酒に歌に時の過ぎるを忘れるほどであった。

平井満喜男先生には都合でお見えいただけなかったことは残念であった。次の機会にお元気なお姿に接することのできるよう祈念しております。

出席者、(順不同)大和田夫妻、松沢夫妻、奥富、浅井、井上(昇)、谷本(健)、齊藤(安)、道

脇、吉田(滋)、柳町、植田、服部、大橋、坂登、大住、大石、谷本(剛)、菅原、岡崎、佐々木(正)田沢、今泉、渡辺(渥)、守谷、木村、市川、高岡、河本、山根、岩松、長島、菅波、本田、稲浜、齊藤(一)、丸田、瀬田、渡辺(郁)、原、轟、渡辺(琢)、内田、相庭、河村、星野(衛)、小川(一)、佐竹、大沼、堀江、中村、塩崎、宮原、
(宮原 記)

八 紫 会

(昭和35年卒)

今年度のクラス会総会並びに懇親会は、9月25日午後7時から大阪の名門料亭「吉兆」において開催された。今回は西日本に台風の影響が出て、全国的に空の便が乱れ前日取消しや、当日欠席の連絡があったり、集合場所の大阪ロイヤルホテルには結局35名の出席となり、岸夫妻・徳永君には大変御迷惑をかけてしまいました。

総会では幹事の報告と会長からの提案などがあり、来年はFDI東京大会と歯科医学総会の開催

に合わせて、東京で総会を行うことに決定いたしました。懇親会は久しぶりの淵野君の乾杯ではじまり、珍味と名妓の酌と舞を堪能し、岸・徳永両君の案内で北の繁華街へ希望を3組に分けて2次会へと繰り出した。

翌朝、千里の万博あとに出来た国立民俗博物館で世界一周を楽しみ昼食後、再会を約して現地解散した。
(桜井 記)



すいどうばし

水 橋 ク ラ ブ (卓球部OB会)

木崎湖合宿20周年記念行事行われる

戦後卓球部の夏期合宿は、練習会場及び宿舎の関係で固定地がありませんでしたが、昭和36年より長野県木崎湖畔“平”小学校の体育館を練習場として借りられるようになり、宿泊は“道の家”に定着し、本年20周年を迎え、現役部員の激励を含め、合宿経験者を中心に、交通事故から立直った松本功君を始め長野県在住の先生も加わり、OB、OG35名、家族25名が57年8月19日、木崎湖畔に参集した。6時から、道の家にて記念式典が行われ、山本義茂水橋クラブ会長の挨拶があり、当主の笠木さんへ、20周年記念盃と感謝状が贈られ、今後も、東京歯科大学卓球部への協力をする旨、当主から挨拶があり、懇談会に移り、久しぶりの再会で一夜を過ごした。

翌日20日は3班に分れ、家族は松本市の中田先生引率で大町から黒四ダムへハイキング、希望者は穂高カントリーでゴルフ、残りは学生時代を忘れられず、現役の卓球合宿に参加し、汗を流した。

(伊藤 浩記 S57.10)

卓球部合宿20周年記念出席者名

(卒年順・敬称略)

山 本 義 茂
伊 藤 浩
中 田 幸 一

谷 光 明・家族
西 尾 義 房
松 本 功
黒 須 誠 夫妻・家族
高 梨 薫 敏 夫妻・家族
山 添 雅 夫 夫妻・家族
神 谷 明 正 夫妻・家族
山 本 茂 久
橋 本 恵 子 家族
平 野 義 和 夫妻・家族
鶴 沢 文 彦 夫妻・家族
村 上 芳 一
岩 本 富美代 家族
山 口 英 也
佐 藤 英 俊
小野寺 宣 夫 夫妻・家族
川 上 光 一
北 条 健 三
臼 井 文 規
野々山 進

長野県より

山田・中田(金)・片倉
現役部員・学生

杖 痕 ク ラ ブ

『かつて我々は青春の意義と山岳への強い憧憬とに誘われて、堅き統制と確固たる基礎の上にたつて我々自身の登山に於て占める学校山岳部の意義を認め、学生登山界への第一歩を踏み出さんとして東京歯科大学専門学校山岳部を設立した。そ

れより4年を経た今日、今や若き有望なる我々の後継者は新たなる活躍を示さんとしつつある。ここに於て我々山岳部先輩は杖痕クラブなる集団を興し、山岳部の事業を援け、あるいは親睦をはかり、また技術の向上を企画して山岳部と共に我々

すいどうばし

自身の発展を期するものである。ここに本クラブの設立を宣言する』。きびしく、楽しく学生生活を送り、晴れて卒業した山男達は昭和7年東京歯科大学山岳部OB団体としての杖痕クラブなる会を設立して声高らかに宣言した。当時のクラブ員は僅か12名であったが50年後の今日、その数は120名を越えた。

昭和57年10月9日、ホテルグランドパレスに於て厳かに杖痕クラブ設立50周年記念式典がとり行

なわれた。半世紀という長い間、遭難事故のない素晴らしい伝統のある杖痕クラブは、山岳部と共に戦前に於ては北アルプス鹿島鍾ヶ岳カクネ里に攻撃の主眼をおき、以来各山岳にその杖痕を残しながら登山の基礎を一步一步築いてきたが、昭和35年北アルプス穂高連峯に於て三つの未登攀ルート（TDCルートⅠ、Ⅱ、Ⅲ）の初登攀を行ないTDCルートⅠ、Ⅱ、Ⅲの確立という偉業をなし遂げた。更に昭和43年海外遠征により南米ペルーアンデスの未登峰ネパドアキ



すいどうばし

ルポ(5,565米)の初登頂の栄冠に輝やいたのである。そして現在も60歯齡を越える若者達まで、ぞろぞろとスキーに、山に精を出しているばかりでなく、歯科界に於ても、大学に同窓会に、地区歯科界に、人材を配して活躍している。

記念式典は佐藤剛也幹事、本多哲郎幹事の司会のもとに竹内民勝会長の挨拶、松宮学長の祝辞、クラブ員でもある河邊同窓会長の祝辞、日本山岳会渡辺兵力副会長の祝辞等について三輪久夫幹事長よりクラブの歴史が淡々と語られた。更に歴代の会長、幹事長、山岳部長ならびにクラブに貢献された方にそれぞれ感謝状と記念品が贈られた。

はて、杖痕クラブの山男達の集りにこんなに改まった固苦しい面があったのか……と思いきや、室を換えての懇親会では、加藤孝道幹事、茂木元介幹事等の司会進行によって、恒例のクラブらしい雰囲気熱気溢れる会となったのである。クラブ設立当時の老いた若者は涙をたたえてマイクに向っていた。『私は家を出るとき誓った。今日一日は涙を流すまい。酒を飲みすぎまいと。そして今、この素晴らしい会に皆さんと喜びを共にして

います。そして今、誓いが破られて涙しています……』と。

杖痕クラブは楽しい集団である。志賀高原にヒュッテを持ち、スキーにハイキングに他では見られない雰囲気ヒュッテンレーベンを楽しんでいる。普通では口もとけない程偉い老先生や大家と、卒業したての若い青年歯科医とが口角泡をとばして激論し、談笑してはばからない光景は、山を通じて結ばれた固い絆があってこそその尊い情景ではあるまいか。こうして老いたクラブ員は若者の精気にふれて若さをとり戻し、若い学究の徒は経験豊かな老兵から山の、歯科医学の、人生の知識を吸収してそれぞれに向上して行く。そして尽きることのない人世の頂上を目指してみんな登って行こうとしているのである。

懇親会は現山岳部長野間弘康教授の音頭で山岳部々歌を唄い、校歌を斉唱して一応のくぎりをつけられたが、あちらこちらで、かつてのザイルで結ばれた行動の思い出が語られいつ果てるとも知れないで続く。

(正木 光児 記)

◆投稿規定

- (1) 原稿締切
原稿の締切りは奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。
なお、会報専用の原稿用紙(22×10字行)がありますので、ご一報下されれば送付いたします。
- (3) 投稿字数
① 随想、詩、短歌、時評などは1編1,500字以内。
② 支部のうごきは、800～1,000字。
③ クラス会便りは、700～800字。
④ よろず告知板は、200字以内。
⑤ 写真は一葉200字に換算して下さい。
⑥ 折角ご投稿いただいても、規定字数を超えた場合は、掲載いたしかねますのであらかじめご諒承下さい。
- (4) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下さればご返送いたします。

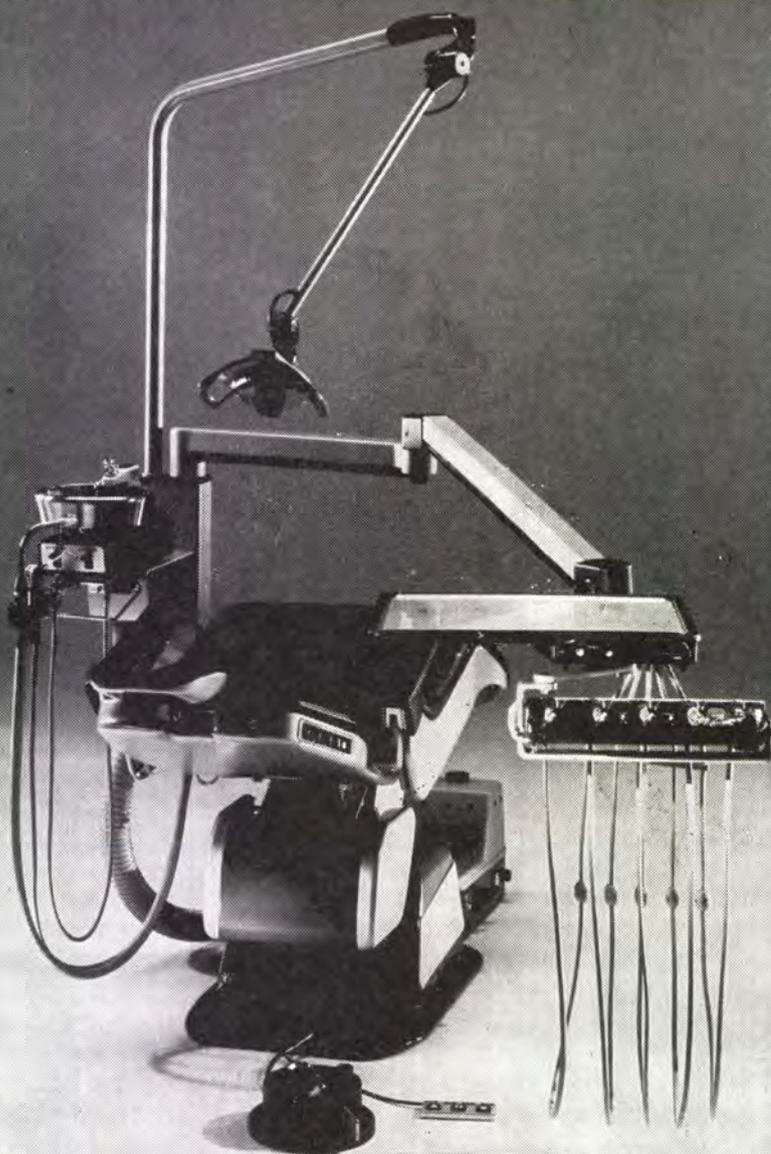
◆へんしゅうこうき

- ☆ 会員の皆様、この一年大変御苦勞様でした。あともう少しです！ 頑張っていたきたいと存じます。
- ☆ '82年も色々なことがありました。千葉校舎の講堂で卒業式と入学式が挙行されたことは我校の歴史に新しい一頁を飾りました。優れた教育スタッフと完備された施設、ここで勉学出来る学生は全く恵まれています。
- ☆ 大変遅れておりました80周年記念募金協力者の銘飯が来春2月頃出来ます。汚れやすい銅飯でなくステンレス飯になりました。厚生棟前の広場に飾られるとのこと。
- ☆ 世界的不況の中で日本が生き残れるか？ 中曽根内閣が発足して1カ月、スタートから人勧凍結という増税なき財政再建、行政改革。全部私達には直接影響があります。私大助成金の大幅削減、医療費削減、追いうちをかける様に医業の税務調査の徹底、更に老人保健法の施行などは、医療国営の前段とも思われます。私達は目醒め団結し対応しなければなりません。
- ☆ 関口けいぞう、井上裕、浅井美幸の三国会議員は歯科業界の為に連日国会で大変な御努力をされています。社会保障制度のなかの医療は政治抜きでは全く改善も発展もありません。これからも先生方には更に期待するところ大ですが、同窓会の会員の先生一人一人におかれましても、明年行われます全国統一地方選挙、参議院議員選挙におきまして是非、一般医療のみならず高齢化社会に対応する医療に正しい理解を示す議員を適切に選んでいただきたいと思ひます。(山本啓介)

広報担当理事：梅田昭夫、溝上隆男、松川健二、伊藤 哲、仲谷純三、平 佐武郎、馬嶋 博、野上順平
広報部会報編集委員会 委員長 櫻井善忠、副委員長 薬師寺 仁、
委 員 中久喜 喬、中村泰之、山本啓介、古川 正、松井恭平、林 量一

昭和57年12月15日 印刷 編集・発行人 梅 田 昭 夫
昭和57年10月20日 発行 東京歯科大学同窓会
東京歯科大学同窓会会報 第210号 〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18
電話 (03) 262-3421 (内線 226)
(03) 264-4859 (直通)
印刷所 一世印刷株式会社
東京都新宿区下落合2-6-22
電話 (03) 952-5651 (代)

「エレクトロニクス」技術を集結した世界唯一の
 チェアーマウントシステムのデンタルユニット



スマイリー-GM800 SERIES

スマイリー-GM8100
 ¥2,986,000

新製品

ハイテクニクを追求しつづける
 オサダが、最新のエレクトロニクス
 技術をデンタルユニットに取り入れ、
 先生の診療を快適で高能率、メンテ
 ナンスの楽な簡潔化を計ったユニツ
 トに完成させました。

IC回路の採用により、例えばワー
 クテーブルがぐつと薄くなり、先生
 方の胸上配置を可能にしました。又、
 ユニットの生命であるインスツルメ
 ントは全てオートクレープ可能とな
 りFPシステム(先取り優先)採用に
 より、先生方がご使用中でも、他の
 パーの交換の流れに沿って助手が交
 換できるシステム等…技術に生き
 るオサダが、エレクトロニクスを診
 療機器に集結させ、先生方のご要望
 に応え、ここに登場しました。

※全国オサダショールームにてお手にと
 ってお試下さい。



長田電機工業株式会社
東京都品川区東品川5-17-5 電話03(3592)7111

オサダの歯科設備

(KIK姉妹品)

歯科用金属焼付ポーセレン用メタル ケイ・アイ・ケイ ハード

KIK HARD II

DENTAL USE

重量10グラム

ISHIFUKU METAL INDUSTRY CO.,LTD.

金属焼付ポーセレン用金合金

KIK HARD II

- 硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- 流動性が優れており容易に鋳造できます。
- 焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分 金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質 ● 溶融温度1240~1290℃ ● 比重17.8 ● 鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さkg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレース時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

NEW!



ENDODONTIC CEMENT

デンタリス® KEZ

Root canal Sealer & Filler

本格的な根管充填用シーラーデンタリス® KEZが誕生しました!

新製品デンタリス® KEZは、根管充填専用として開発された遅硬化性のセメントで、根管壁及びポイントに対するヌレが優れ、練和後根管内で5~7分で硬化し、エックス線造影性を有しております。また、PHをアルカリ性に調整し、炎症巣への刺激を避けたエンドドンティックセメントです。

〔適応症〕 抜髄根管或いは感染根管治療後の根管充填材として応用します。

または根管充填用シーラーとして、ガッタパーチャポイントとの併用根管充填材として応用します。

〔特長〕 デンタリス KEZは、水酸化カルシウムを含有するエンドドンティックセメントで操作性が良好です。

- ・練和時に適当な粘りがあり、根管壁への接着性及び封鎖性がすぐれています。
- ・硬化時間に一定の余裕がありヌレと流動性がよいのでガッタパーチャポイントとの併用根管充填に特に有効です。
- ・エックス線の造影性がありますので、臨床的に根管の閉塞状況を検討するのに有効です。
- ・根端歯周組織に対して有害作用を示すことがなく、自然治癒力を妨げずに治癒にたいして好影響を及ぼします。
- ・デンタリス KEZは、ビタベックス®との積層根管充填には、親和性があります。



ネオ製薬工業株式会社

〒150 東京都渋谷区広尾3-1-3 Tel. (03)400-3768代

AXIS 90

DENTAL CHAIR

世界ではじめてパワー(油圧電動)ヘッドレストを実現。

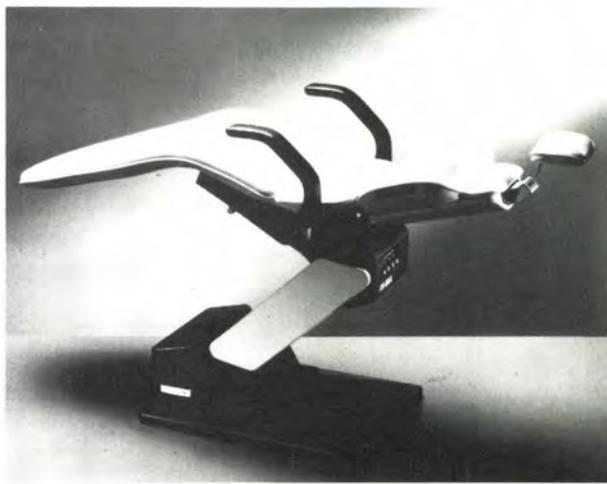


スイッチひとつで、ヘッドレストが動きます。

デンタルチェアの命といわれるヘッドレストが、スイッチひとつで操作できる“電動”になりました。

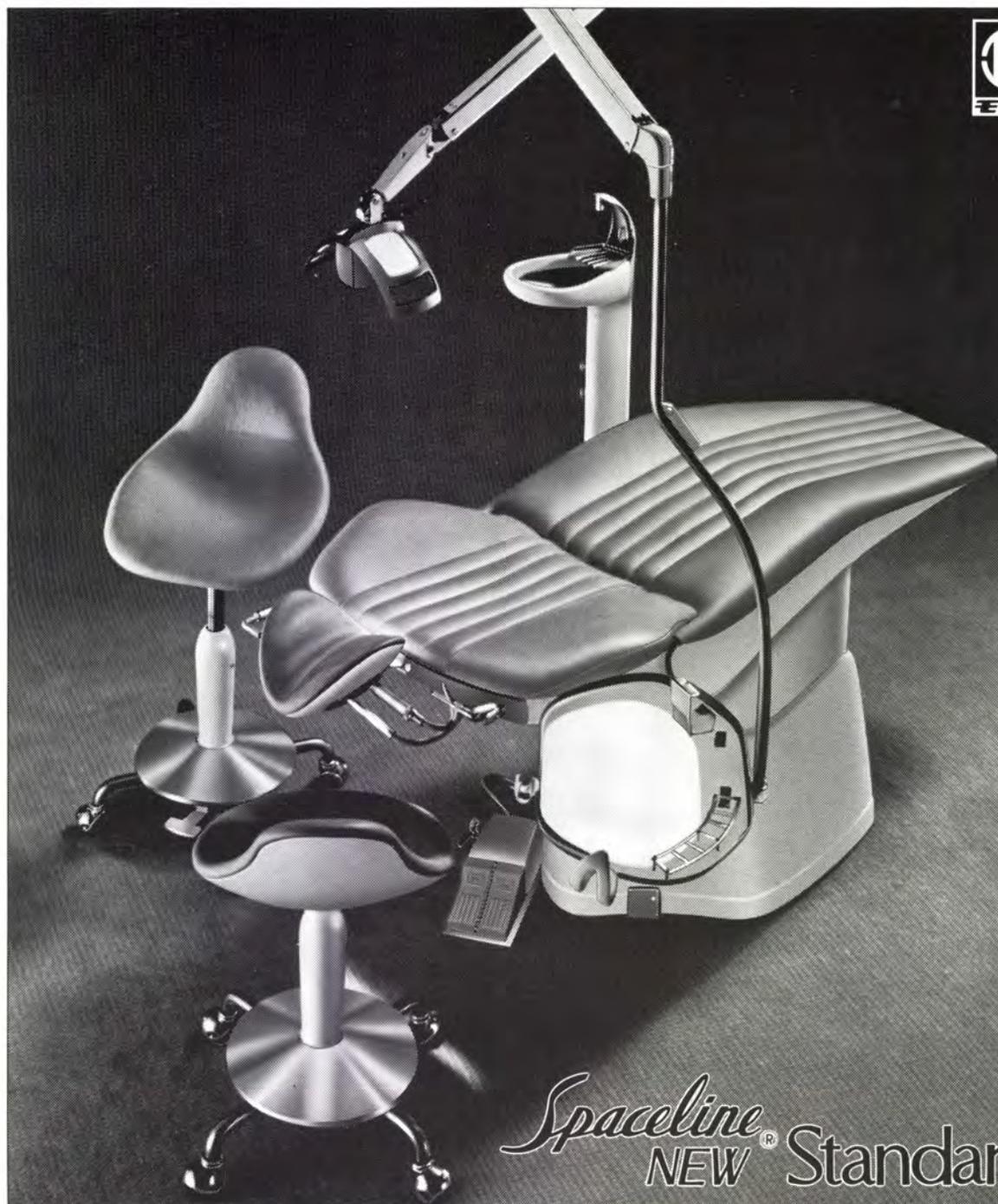
患者はラクな姿勢で口を大きく開けられるようになり、さらに術者は自然な姿勢で、より広い口腔内視野が得られるように設計したアクシス“パワーヘッドレスト”。電動油圧技術とIC技術で完成した、90年代志向の新しいデンタルチェアです。

主な仕様
●高さ / 420mm ●ストローク / 380mm ●チルト / リクライニング連動チルト
●プリセット / 2ポジションメモリー方式 ●オプション / フートスイッチ
(昇降・寝起) ※標準価格 980,000円



4カラベルモント

本社 ●大阪市南区島之内2-13-22 ☎(06)211-2831・大代表
支社 ●東京都港区赤坂7-1-19 ☎(03)403-0311・大代表



Spaceline[®] NEW Standard

診療効率を高める究極の機能——ニュー スタンダード

診療の効率化が叫ばれているいまこそ、水平位診療の原点を極めたスペースラインが真価を発揮します。ニュースタンダードは、最新の電子技術で内部のメカニズムをグレードアップ。さらに、バキュームフィルターがハウジングの外側についてメンテナンスが楽になりました。

標準インストルメント	ニュースタンダード	ニュースタンダード
エアベアリングハンドピース アストロン(AT-C)	● ○	● ● ○
アストロンホース回路	●	● ●
マイクロモーターハンドピーストルックス(TR-2N)	●	●
スリーウェイシリンジ	● ●	● ●
バキュームシリンジ	●	●
サライバエジェクター(シャットオフバルブ付)		●

○は予備ハンドピースを表わし、(外観および仕様などは改良のため予告なく変更することがありますのでご了承)

21世紀のデンタルライフをひらく 株式会社 **モリタ** 東京都台東区上野2丁目11番13号 〒110 ☎(03)834-6161

株式会社 **モリタ製作所** 本社工場・京都市伏見区東浜南町680番地 〒612 ☎(075)611-2141 久御山工場・京都府久世郡久御山町大字市田小字新塚城190 〒613 ☎(0774)43-7594
株式会社 **モリタ東京製作所** 埼玉県与野市上落合355 〒338 ☎(0488)52-1315

GC

「ブラック」の咬合接触検査材



咬合接触状態の検査法に、精度と簡便性を両立させたNewアイデア

——バイトチェッカーは流動性の高いブラックシリコーンです。使用法は簡単。練和し、下顎歯列咬合面に盛り、咬合させるだけです。こうして採得した咬合関係を模型上、またはシャーカステン上で観察すれば、接触部分は白く透け、位置ばかりかその程度までも判定ができます。

咬合接触検査の臨牀的ニーズにミクロン単位の精度で応えるバイトチェッカー。補綴物製作、歯周疾患、矯正治療等に広くご利用ください。

咬合接触検査材

バイトチェッカー 《ブラックシリコーン》

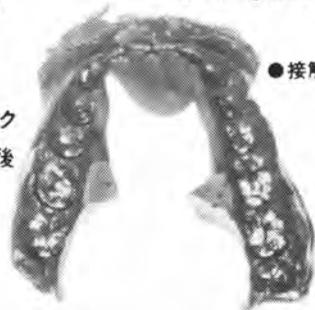
包装 ●1歯＝ラバーベース80g1本/キャタリスト20g1本
リターダー3g1本/練和紙付

利用法

- 口腔内における補綴物の咬合接触状態のチェック
- 補綴物の各製作ステップにおける咬合接触状態のチェック
- 歯周疾患における早期接触の部位発見と、暫間固定後のチェック
- 歯列矯正治療の経過観察

(バイトチェッカーは資料として長期保存できます)

※この他、アイデアを活かしてご利用ください。



●接触部分は白く透過して見えます。

「ホワイト」の適合検査材も、よろしく。

ホワイトシリコーン適合検査材。
義歯床粘膜面やクラウン内面の適合状態を
正確にチェックできます。

フィットチェッカー

包装 ●1歯＝ラバーベース80g1本
キャタリスト20g1本
リターダー3g1本
練和紙付



G-C DIC デンタルインフォメーションセンター

●北海道DIC 011(271)7373代 ●東北DIC 0222(71)8757代 ●東京DIC 03(816)6480(直) ●名古屋DIC 052(703)3231代
●大阪DIC 06(771)4682代 ●広島DIC 082(255)1771代 ●九州DIC 092(441)1286代
●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)10070



而至歯科工業株式会社

歯科技工学科

受験資格 高校卒業以上又は同等の者
定員 50名(男女)
修業年限 2カ年(昼間)
願書受付 昭和57年12月1日(内より)昭和58年1月27日(内)まで
入試期日 昭和58年1月29日(土)・30日(日)
試験科目 英語(A)・数学(I・II A)・国語(現代国語)・
実技・面接

□歯科技工専修科

特徴 本専修科は、歯科技工士の資格を有する者にさらに
高度の専門教育を行い、特に臨床科目に重点を置き
マンツーマン教育を徹底させる。
受験資格 歯科技工士の資格を有する者(外国の資格も含む)
修業年限 2カ年(昼間)
定員 25名



顧問 東京歯科大学学長 松宮誠一先生



東京歯科技工専門学校

〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 (東急目蒲線不動前徒歩2分) TEL03(492)4221代 ※入学案内 千共1,000円(切手可)

わずか金20%で
金合金の審美性を遂に実現!!



新発売

特許出願中(日、米、英、独、仏)

歯科鑄造用金パラジウムインジウム銀合金

優雅な黄金色

適合性

経済性

酸処理不要

4拍子そろったキャスト
アロイの革命です。

キンバレイ20E



日本歯研工業株式会社

本社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)
支社：〒553 大阪市福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)
上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6
吉岡歯村ビル2F ☎03(831)7031・7033